

令和2年度 シラバス

第3学年
普通科
普通コース

鳥取城北高等学校

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(キャリア公務員・保育)	履修形態	必修	
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させる。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに文体の表現上の特色をとらえる。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させていている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	新高等学校現代文B(明治書院)新高等学校現代文B 学習課題ノート(明治書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	はじめての失敗	随想を読み、新たなものの見方を知る。	自分にとって失敗とはどういうものであったか、具体的にまとめる。	9	授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	5	おまえはどこに立っている	随想を読み、ものの捉え方や文章の組み立て方を学ぶ。	主題について表現に注意して読み味わう。	9	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
		マスク	登場人物の心理を受験という状況に即してとらえる。	表現の特徴や主題について話し合う。		授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
	6	オデュッセイア	小説の特徴を掴み、その特徴を生かした物語の構造について理解を深める。	構成や表現の特徴をつかんで主題を探る。	12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
		言葉を理解する	論理的な文章の読み方を習得する。	抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解する。		授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	7	小説とは何か	評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。	小説の面白さとは何か、話し合う。	12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出

		わたし가一番きれ いだったとき	語句の意味、用法を 理解し、語彙を豊かに する。	韻律に注意し、描か れた情景や心情にふ さわしい朗読を工夫 する。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
2	8	九月の風	詩にこめられた情景や 心情を読み取る。	文体や修辞技法など の表現の工夫から特 色と効果を考える。	3	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	9	流星		個々の場面のエピ ソードの意味を全体 の流れから考える。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		博士の愛した数式	近代・現代小説の名 作に触れ、自分にひき つけながら読む態度を 養う。			授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	10	怖れ	空想によって作られた 小説のおもしろみをつかむ。	構成や表現における 作者の工夫を的確に 読み取る。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		あるいは「風」につ いて	長い評論の文章につ いて、論の組み立て方 や要旨をとらえる。	日本の伝統芸能の本 質について、文意に 沿ってまとめる。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
11		物の見えたる光	要旨や構成を把握し、 引用文の効果的な使 い方を学ぶ。	ジャヴェルの言葉と 引用されている芭蕉 の俳句との共通点を 話し合う。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「世間」とは何か	ものごとを根本から考 える姿勢を学ぶ。	社会関係の実相を日 欧の対比から考え る。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
12		舞踏会	小説の時代背景、場 面設定、登場人物の 人物像や心情をつか む。	鹿鳴館とは、明治時 代の日本でどのような 意味を持つかなど、 時代背景を調べる。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		サフラン	明治期の隨想を読 み、現代にも通じるも のの見方を知る。	「物語のモラル」とは 何か、話し合う。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
3	1	私の個人主義	作品の主題を理解し、 人や人生に対する見 方を深める。	構成や表現における 作者の工夫を的確に 読み取る。	6	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(大学進学クラスを除く)	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の定着と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校内容から数学IAの全範囲までの基礎基本を確認しながら数学検定準2級までを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 数学への関心・意欲・態度	B 数学的な見方や考え方	C 数学的な表現・処理	D 数量・図形などについての知識・理解		
	既習内容の全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、既習内容の全範囲における数学的な見方や考え方を身につけている。	既習内容の全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	既習内容の全範囲における基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	創育 数学検定問題集準2級 教研出版 最新 数学I, 最新 数学A, 3ROUND数学I+A					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1. 方程式と不等式	基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身につける。 各項目において基本レベルから標準レベルの問題の解法を身につける。	例題で基本事項をおさえ、類題を解く。	6	A/B/C/Dの総合評価
	5	2. 関数とグラフ			6	
	6	3. 平面図形			8	
	7	4. 三角比			8	
	8	5. 場合の数と確率			2	
2	9			8		
	10			8		
	11			8		
	12	実践問題		8		
3	1			4		

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語II	単位数	3単位								
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース (キャリア・保育・看護分野)	履修形態	必修								
科目の目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p> <p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。</p> <p>② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。</p>												
学習内容の概要	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>												
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度</th> <th>B:外国語表現の能力</th> <th>C:外国語理解の能力</th> <th>D:言語や文化について の 知識・理解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。</td> <td>英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。</td> <td>英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。</td> <td>英語やその運用につ いての知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。</td> </tr> </tbody> </table>					A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化について の 知識・理解	コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。	英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。	英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。	英語やその運用につ いての知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。
A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化について の 知識・理解										
コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。	英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。	英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。	英語やその運用につ いての知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。										
教科書、教材など	VISTA English Communication II New Edition(三省堂)												
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)												
年間授業計画													
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価							
1	4	Take a Break!4	・「Heal the World」の歌を通して、英語の歌詞に親しむ。	(歌ってみよう) マイケル・ジャクソン 『Heal the World』	9	B,C,D							
	5	Lesson8 Shodo, Old and New	・伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。 ・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。	書道パフォーマンス —伝統文化を新しいスタイルで... (病院で)	9	B,C,D							
	6	ENJOY COMMUNICATION!4 What's the Matter? Look and Learn4	・文法のまとめ(itのいろいろな用法・さまざまな否定・現在完了形のまとめ) ・パラグラフの構成を把握する。	(itのいろいろな用法・ さまざま否定・現在 完了形のまとめ) (パラグラフの構成を把 握しよう)	12	A,B,C B,C,D							
	7	Reading Skill4 Lesson9 Water World	・昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割		12	B,C,D							

8	Take a Break!5 新年カードクイズ	を考える。 ・さまざまな国の新年の挨拶を通して、各言語に親しむ。	〈政界の言語で「あけましておめでとう」〉		B,C,D
9	Lesson10 A Long Friendship	・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためににはどんな心がけが必要かを考える。	・日本とトルコの友好関係	3 12	B,C,D
10	Look and Learn5 ENJOY READING! I'm afraid of Manju!	・文法のまとめ(関係代名詞・いろいろな受け身・過去完了形) ・落語『まんじゅうこわい』を鑑賞する。	(関係代名詞・受け身・過去完了形) 落語『まんじゅうこわい』の鑑賞	12	C
11	問題演習及び 卒業制作			12	A,B,C,D
12				12	
1				6	

教科名	総合	科目名	自己表現	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(キャリア)	履修形態	必修	
科目の目標	まともな日本語の話し方の習得。3年間で学んだこと、習得したことを整理し、それを簡潔かつ明快に表現できる。					
学習内容の概要	進路実現にむけて3年間で学んだこと、習得したことを整理し、自己PR文を作成する。自己推薦文や志願理由書を作成し、自分自身のアピールポイントを自分自身が理解する。また、それらを元に面接や面談練習を行い、各々の進路実現に向けた取り組みをする。また、進学先決定後は進学先から配布された課題演習や社会に出るためのマナー講座等を行い、卒業への準備を行う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A.関心・意欲・態度		B.志向・判断	C.技術・表現	D.知識・理解	
	志望進路先の特色や研究・学間に興味をもち、主体的に進路について考えることができる。		検定試験をはじめ様々な課題への準備を計画的かつ効率的に行い、自信をもって課題に臨める。	正しい敬語を用いて話すことができる。また、自己理解を深め、より向上しようという姿勢がある。	志望進路咲でどのようなスキルや知識が必要とされるか明確に理解し、それによつて自分自身が将来どのように社会に貢献できるか考えることができる。	
教科書、教材など	自分を活かす志望理由書・面接-学校推薦型選抜-総合型選抜入試対策 東進ブックス-大学入試小論文シリーズ、ワークシート プリントなど					
授業形態	講義・AL型・実技					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6 7 8	自己分析と資格取得 ・実用英語能力検 ・日本漢字能力検 自己発見 オープンキャンパス就職希望先の選定	年間を通して「自分自身が何ができるか、何をしたいか」、自分探しを明確にする。 城北の中で通用しても世間では全く使い物にならないことを自覚させて危機感を募らせる。	漢字の読み書き。 体言止めでの言葉ではなく、まともな言葉遣いと会話ができるようにする。 ひたすら反復学習 テキストを用いて、自己表現の練習をする。 志望理由書の作成。 面接練習。 履歴書の書き方	4 6 6 6 2	
2	9 10 11 12	志願理由書作成と面接・面談対策 新聞を読む		ロールプレイング 気になる記事を要約して自分の意見をもつ	8 8 6 6	
3	1					

教科名	商業	科目名	商品開発	単位数	4 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発に関する知識と技術を習得させ、顧客満足を実現することの重要性について理解させる。 ・商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。 					
学習内容の概要	(1) 商品と商品開発 (2) 商品の企画 (3) 商品の開発 (4) 商品開発とデザイン (5) 商品開発と知的財産権 (6) 商品流通と流通を支える活動 (7) 総合実習					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断	C 技能・表現	D 知識・理解		
	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発について関心を持っているか。 ・消費者の視点に立った商品の企画・開発・流通に主体的に取り組もうとしているか。 ・商品活動に関する諸活動を主体的に考える、実践的な態度を身につけていられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発に関する諸活動への適切な対応を目指して、思考を深めているか。 ・商品開発に関する基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、外部に表現する創造的能力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品を企画、開発し、流通させるために必要な技術、商品開発に必要なデザインに関する技術を身につけ、活用することができているか。 ・商品開発に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発に関する基礎的、基本的な知識を身につけているか。 ・顧客満足を実現することの重要性について理解しているか。 		
教科書、教材など	商品開発(実教出版)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
	年間授業計画					
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第4章 商品開発とデザイン ・デザインの基礎	商品開発においてデザインが果たす役割について理解する。	実習 POP広告や広告ポスターを作成。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノート確認
	5	・パッケージデザイン	パッケージデザインの機能や種類、製作上の重視点について学ぶ。		12	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・実習結果 ・問題集 ・定期考查
	6	・グラフィックデザイン	グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解する。		16	
	7	第5章 商品開発と知的財産 ・知的財産権の内容	グラフィックデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について学ぶ。		16	

2	8	・知的財産権の取得	特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権の概要とビジネスにおける活用の意義を理解する。	4	
	9	・知的財産権の活用	不正競争防止法の目的について学ぶ。 特許権、実用新案権、意匠権、商標権について、取得手続きの概要を理解する。	16	
	10	第6章 商品流通と流通を支える活動 ・流通の仕組みと市場	取得した知的財産権について、独占的販売やライセンス取得など、その活用方法について理解する。 流通の役割、流通の仕組みとその変化、および流通系列化について理解させる。 卸売業と小売業の主要な形態や特性について理解させる。 業態ごとの流通戦略について、具体的な事例を取り上げて理解させる。	16	
	11	・売買業者の商品計画	卸売業と小売業における商品計画的重要性について理解させるとともに、卸売業と小売業の今後の方向について考察させる。	16	
3	12	・流通手段の多様化	ダイレクトマーケティング、通信販売、電子商取引などの無店舗販売を例に、多様化した流通手段について理解させる。	16	・授業態度 ・発問評価
	1	・物流と流通を支えるその他の活動	物流の働きと仕組み、また流通の支援機能である金融、保険の働きと仕組みについて理解させる。 合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について、具体的な例を取り上げて理解させる。	8	

教科名	外国語	科目名	英会話	単位数	2 単位	
対象学年	第 3 学年	対象コース	普通(キャ・公・保・幼・看医)	履修形態	必修	
科目の目標	The objective of this subject is to exercise the students English listening & speaking skills.					
学習内容の概要	The students will be introduced 12 topic/theme based lessons. Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises in class.					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A: Vocabulary/Grammar	B: Listening skills	C: Speaking skills	D: Presentation skills		
	Vocabulary and grammar will be assessed when writing presentation scripts.	Listening comprehension will be assessed during presentations & listening tests.	Pronunciation, intonation, rhythm & fluency will be assessed during presentations.	Presentation skills to enhance oral presentations will be assessed during presentations.		
教科書、教材など	Atlantis English Conversation					
授業形態	Students will work in small groups					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson 1 - I like meeting new people	Expressing your likes (to+infinitive, Gerunds)	All lessons will encompass the following;	6	All lessons require students to make an oral presentation which will be assessed on a number of criteria
	5	Lesson 2 - I usually wake up at 7	Daily routines (frequencies adverbs)	1. Looking up the meaning of the target vocab	6	
	6	Lesson 3 - We're taking a trip	Making a plan (future tense)	2. Understanding and practising the target grammar points	8	
	7	Lesson 4 - How about going to ...	Making a simple proposal	3. Use the vocab & grammar to write a monologue/dialogue script	8	
	8	Lesson 5 - You should take your ...	Giving someone general advice	4. Use the script to practise speaking skills	2	
	9	Lesson 6 - We are not allowed to ...	Talking about cans & cannots		8	
	10	Lesson 7 - How was your vacation	"how/was/were/did" questions		8	
	11	Lesson 8 - I used to live in America	Understanding & using "How long ..." questions		8	

	12	Lesson 9 – What were you doing on ...	Questioning in past progressive tense		8
3	1	Lesson 10 – Who is the funniest person	Describing using types of adjectives		4
	2	Lesson 11 – How long have you ...	Questioning in perfect present tense		6
	3	Lesson 12 – I wish I were rich	Stating a wish or belief		6

教科名	地理歴史	科目名	地理A	単位数	2単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース キャリア・保育	履修形態	必修	
科目の目標	1地理への興味・関心を持ち、主体的に学習する態度を育てる。 2現代世界についての地理的な認識をいっそう深めるとともに、国際社会における立場と役割を考えさせる。					
学習内容の概要	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	現代世界の地形的な諸課題に対する関心と課題意識を高め追求し、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。		現代社会の地理的事象から課題を見いだし、それを多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計などの諸資料を集め、有用な情報を選択、活用できるようにする。	現代世界の地理的な諸課題について基本的な事柄の追求の方針を理解し、その知識を身につけている。	
教科書、教材など	高等学校新地理A 初訂版(帝国書院)、新詳高等地図 初訂版(帝国書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第1部 1章 1節 1 地上の現象と地球上の位置 2 経度の違いと時差 3 球面と平面の世界 4 国家の領域と国境 5 日本の領域と領土問題 2節 1 絆びつきを強める現代世界 2 世界を結ぶ交通 3 世界を一つに結ぶ通信 4 拡大する世界の貿易 5 観光の国際化と人々の移動	地図上の位置と国家について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度や経度の基本的なしくみと、時差のしくみについて理解する ・地球を地図におきかえるさまざまな図法について理解する ・国家の領土・領空・領海の範囲について理解する ・日本の位置と排他的経済水域の範囲や資源の利用について理解する ・国家間の結びつきが軍事的結合から経済的結合へと変化したことを理解する ・航空交通の発達により、地球規模での国際交流が活発化したことを探る ・日本における観光の国際化について理解する 	6	時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 国家の領域とさまざまな国境についての基本的な事がらを理解し、それらの知識を身につけている。
	5		グローバル化が進む世界について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・結びつきを強める現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 ・国際的な観光の広がりについての基本的な事がらや追究の方針を理解し、その知識を身につけている。 	6	

	2章 1節 生活に影響を与える環境条件とは	生活に影響を与える環境条件について理解する	・自然環境と社会環境について理解する	世界の人々の生活・文化は、自然環境や社会環境と深く関わって成り立っていることを理解し、その知識を身につけています。人々の生活と地形に関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
6	2節 1 さまざまに変化する大地と生活 2 世界の大地形と人々の生活 3 山地・平野の地形と人々の生活 4 海岸の地形と人々の生活 5 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	人々の生活と地形について理解する	・地形を形成する内的當力と外的當力について理解する ・河川がつくる山地・平野の地形の種類や特徴と人々の生活との関係を理解する ・海岸でみられる地形の特徴と、人々の生活との関わりについて理解する ・氷河地形・カルスト地形・乾燥地形の特徴や人々の生活との関わりについて理解する	山地・平野・海岸・氷河・カルスト・乾燥地形と人々の生活との関わりについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
6	3節 1 生活と気候のかかわり 2 热帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	人々の生活と気候について理解する	・気候の特徴と人間生活との関わりについて理解する ・各気候区の分布や特徴を理解する	気温・降水量・などの気候要素についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。 各気候帯に暮らす人々の生活についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
7	4節 1 生活を支える世界の農業 2 生活を支える世界の工業	人々の生活と産業について理解する	・農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する ・さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する	生活を支える世界の農業、工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
7	5節 1 生活と宗教・言語のかかわり 2 生活・文化のグローバル化	人々の生活と文化について理解する	・世界の三大宗教をはじめとする宗教の特徴や、宗教と人々の生活との関わりを理解する ・グローバル化が進む世界について、その影響を理解する	生活・文化のグローバル化をめぐる諸課題についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
2	3章 1節 1 中国の自然環境 2 中国の歴史と社会 3 13億人の食を支える農業農民 4 急進する工業と資源・環境 5 生活の変化と格差の拡大	中国の生活と文化について理解する	・中国の社会が日本とどのように異なるかを理解する ・気候と農業との関係と、地域により異なる食文化について理解する ・工業化の変遷とその背景について理解する	中国の内陸部と沿岸部、北部と南部の自然環境の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 中国の経済発展や地域格差についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。

	2節 1 朝鮮半島の自然環境 2 韓国の歴史と日本との交流 3 産業の発展と生活の変化	韓国の生活と文化について理解する	・経済発展に伴い、世界各国が注目していることを理解する ・日本と朝鮮半島をめぐる歴史や、韓国と北朝鮮との関係について理解する ・急速な工業の発展はどのようになされたかを理解する	韓国の歴史や文化について、日本との関わりをふまえながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
9	3節 1 東南アジアの自然環境 2 東南アジアの歴史と民族 3 東南アジアの農業とその変化 4 工業の発展とASEAN	東南アジアの生活と文化について理解する	・歴史や、植民地支配とモノカルチャー経済との関係、多様な民族と文化について理解する ・さかんに行われている稻作の特徴について理解する ・ASEAN域内の結びつきと、近隣諸国との関係について理解する	8 東南アジアの歴史と民族に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。東南アジアの工業化について、モノカルチャー経済からの脱却やASEANの役割をふまえて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	4節 1 インドとその周辺の自然環境 2 インド世界の歩みとヒンドゥー教 3 インドの産業の発展	インドの生活と文化について理解する	・インドとその周辺の自然環境について理解する ・農業の展開を理解する ・自然環境にはどのような特徴があるかを理解する	インドとその周辺の自然環境の特徴について、山脈の位置や季節風(モンスーン)の影響と関連させながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	5節 1 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 2 地域の歴史とムスリムの生活 3 豊かな石油資源と人々の生活	中央アジア・西アジア・北アフリカの生活と文化について理解する	・乾燥した気候のもとで行われる灌漑農業について理解する ・イスラームの歴史と伝播について理解する ・イスラームと人々の生活との関わりを理解する	イスラームと人々の生活との関わりについて基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 豊かな石油資源と人々の生活について基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	6節 1 サハラ以南のアフリカの自然環境 2 サハラ以南のアフリカの歴史と文化 3 変わるサハラ以南のアフリカ	サハラ以南のアフリカの生活と文化について理解する	・アフリカの自然環境の特徴を理解する ・ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する	サハラ以南のアフリカの歴史とさまざまな民族の伝統的・文化について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
10	7節 1 ヨーロッパの自然環境 2 ヨーロッパの歩みと文化 3 ヨーロッパの産業 4 ヨーロッパの統合 5 統合による影響と課題	ヨーロッパの生活と文化について理解する	・植民地支配の歴史とその影響について理解する ・多様な地形や、高緯度の割に温暖な気候について理解する ・キリスト教に深く結びついた文化と、宗派や言語の多様性について理解する	8 ヨーロッパの自然環境について、高緯度の割に温暖な気候や地域により異なる地形のようすをふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

	8節 1 ロシアとその周辺の自然環境 2 ロシアの歴史と社会の変化 3 ロシアの産業と日本との結びつき	ロシアの生活と文化について理解する	・ロシアの自然環境の特徴を理解する ・経済を支える資源をめぐる動きや、外国企業との関係について理解する ・自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する	ロシアの産業と日本との結びつきについて、ロシア経済を支える資源をめぐる動きや外国企業との関係をふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
11	9節 1 アメリカ合衆国との周辺の自然環境 2 移民の歴史と多文化社会 3 大規模な農業とアグリビジネス 4 先端技術産業の発展と工業の変化	アメリカ合衆国の生活と文化について理解する	・アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する	アメリカ合衆国の工業の変遷や先端技術産業の発展と地域経済統合について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
11	10節 1 ラテンアメリカの自然環境 2 混血社会と多様な文化 3 ラテンアメリカの産業とその変化	ラテンアメリカの生活と文化について理解する	・ラテンアメリカの自然環境について理解する ・大土地所有制と農業の変化について理解する	8 ラテンアメリカの産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
11	11節 1 オーストラリアとその周辺の自然環境 2 オーストラリアの結びつきの変化 3 自然を生かした産業	オーストラリアの生活と文化について理解する	・オーストラリアとその周辺の自然環境について理解する ・自然環境に適した農業が行われていることを理解する	オーストラリアとその周辺の自然環境についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 オーストラリアの自然を生かした産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
12	4章 1節 1 地球的課題の特性とその解決	複雑にからみ合う地球的課題について理解する	・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域的特徴があるかを理解する	複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
12	2節 1 さまざまな環境問題 2 熱帯林の破壊とその解決 3 地球温暖化の現状と対策	世界の環境問題について理解する	・世界で起こるさまざまな環境問題について理解する ・地球温暖化によってどのような問題が発生するのか理解する	8 さまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	3節 1 限りある資源・エネルギー	世界の資源・エネルギー問題について理解する	・世界の資源やエネルギーはどこで生産、消費されているかを理解する	資源・エネルギーをめぐる問題とその対策や今後のエネルギーのあり方についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

3	1	<p>4節 1 人口増加と少子化・高齢化 2 地域で異なる人口問題</p> <p>5節 飢餓と飽食</p> <p>6節 1 都市への人口集中と諸問題 2 地域で異なる都市・居住問題</p> <p>第2部 1章 1 身近な地図とその特色 2 GISのしくみと使える技術 3 GIS技術の活用と地図 4 目的に合わせた地図の作成</p>	<p>世界の人口問題について理解する</p> <p>世界の食料問題について理解する</p> <p>世界の都市・居住問題について理解する</p> <p>身近にあるさまざまな地図について理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による人口問題の違いやその背景を理解する ・世界の食料生産・消費には著しいかたよりがあることを理解する ・都市への人口集中が世界的に進んだ背景と、どのような都市問題が発生しているのか理解する ・身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する ・GISやGPSのしくみについて理解する ・情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する 	<p>世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている</p> <p>世界の食料をめぐる課題について、生産と消費の著しいかたよりに着目し、その解決に向けた取り組みなどについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界の都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用について紙地図と比較しながら、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。自分で地図を作成することへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。</p>
3	1	<p>2章 1 日本の自然環境 2 火山災害と防災 3 地震被害と防災 4 風水害と防災 5 身近な地域の防災を考える</p> <p>3章 1 地域を調べる課題の設定 2 調査の調査 3 調査内容の発表</p>	<p>日本の自然環境と防災について理解する</p> <p>身近な地域の課題と地域調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくか理解する ・梅雨や台風の時期に発生しやすい風水害の種類と防災について理解する ・地域調査を行うためには、目的やテーマをはっきりさせることが大切であることを理解する ・調査内容のまとめ方や発表方法を習得し、実践する 	<p>4</p> <p>身近な地域で発生しやすい災害を捉え、自分たちにできることを考察し、その知識を身につけている。</p> <p>調査発表に資する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>調査内容のまとめ方や発表方法についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

教科名 対象学年	総合 第3学年	科目名 対象コース	ビジネスマナー 普通コース(キャリア・公務員)	単位数 履修形態	2単位 必修
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・秘書検定3級の合格をめざす。 ・秘書検定3級の学習を通して、将来必要となるビジネスマナーの知識と技術の基礎を身につける ・自分が将来社会の一員となることを自覚した上で、自らの進路選択について適切に判断する力と、進路実現に必要となる、採用試験などで、自分を表現する力を養う 				
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆるビジネスシーンで活きるビジネスマナー、一般常識、電話応対やレポートの書き方など社会人としての基本を学習する ・秘書検定3級の取得を目指す この検定は、人間関係やマナー、話し方を理解しているかなどが問われる検定 ・ロールプレイングを用いた体験学習や販売実習を通して、より実践的な力を育てる 				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 ・マナーに広い関心がある ・積極的、主体的に学習に取り組む姿勢がみられる	B 思考・判断 ・検定に関する学習内容についての問題を適切に解決するために考え、実践するにあたり、学習内容を自分で判断できるか	C 技能・表現 ・マナー検定の学習や、外部講師による講話から得た内容を自分で適切に表現できるか	D 知識・理解 ・ビジネスマナーを学ぶ目的、方法を理解している ・円滑な人間関係を築くための方法を理解している	
教科書、教材など	「秘書検定 実問題集 3級」(実務技能検定協会)				
授業形態	講義				
年間授業計画					
学期	月	單元	單元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間
1	4	秘書の知識 秘書の技能	社会人としての資質	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての心構えや必要能力を知る ・適切な行動力、判断力表現力 ・検定問題演習を繰り返し実施する 	6
	5	秘書検定対策		<ul style="list-style-type: none"> ・受付、接待の基本的な知識、技術を身につけ、ロールプレイングで実践し習得する 	6
	6	秘書検定対策			8
	7	受付・接待演習			8
2	8	受付・接待演習			2
	9	電話応対演習		<ul style="list-style-type: none"> ・電話応対について基本的な知識、技術を身につけ、ロールプレイングで実践し習得する 	8
	10	秘書検定対策		<ul style="list-style-type: none"> ・検定問題演習を繰り返し実施する 	8
	11	秘書検定対策			8
3	12	慶弔業務演習		<ul style="list-style-type: none"> ・お祝い袋、香典袋の書き方についての基本的な知識や技術を身につける。 	8
	1	秘書検定対策		<ul style="list-style-type: none"> ・検定問題演習を繰り返し実施する 	4

教 科 名	科 目 名	簡易ソフト	単位数	4 単位		
対 象 学 年	第 3 学 年	対象コース	普通コース	履修形態		
科 目 の 目 標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・操作を学習する。基礎的な関数を学び、与えられた問題を理解し、素早く処理する応用能力、実務的能力を身につけさせる。また、表計算の応用・ポスター等の作成により幅広く表計算ソフトが使えるようにする。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定2級基準の用語の学習 ハードウェア、ソフトウェア、通信ネットワーク ・集計処理、図形処理 ・ポスター作成、パワーポイントの利用 					
科 目 の 評 価 基 準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。	B 思 考 ・ 判 断 情報をビジネスに活用するために目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用し、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。	C 技 能 ・ 表 現 表計算ソフトウェアを用いて情報の整理や加工分析などの基礎的な技術を身につけることができる。	D 知 識 ・ 理 解 ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するために必要な知識を身につける。		
教科書、教材など	全商情報処理検定模擬試験問題集2級(実教出版)					
授 業 形 態	講義・演習					
年 間 授 業 計 画						
学 期	月	单 元	单 元 の 目 標	学 习 内 容 (実験・実習等)	時 间	評 価
1	4	コンピュータ2級の関数	コンピュータの応用的な仕組みや働きを理解。高度な関数の働きを理解及び図形作成。	<ul style="list-style-type: none"> ・2級の関数 ・ワークシートの利用 ・集計処理、番地、並べ替え ・関数の利用 	12	・コンピューターの応用的な仕組みや働きを理解できたか。
	5	集計処理 図形処理		<ul style="list-style-type: none"> ・判定、論理演算 ・行方向、列方向の参照 ・行方向、列方向の検索 ・順位付け、カウント ・最大値、最小値 	16	・高度な関数を身につけることができたか。(A、C)
	6					
	7					
	8					
2	9	ポスター作成	表計算ソフトの活用及び働きを理解。	<ul style="list-style-type: none"> ・条件付き合計 ・応用的な図形処理 ・ポスター作成 	4	・ポスター作成により社会での表計算ソフトの応用力を身につけることができたか。(A、B、C)
	10				16	
	11	パワーポイントの応用	パワーポイントの活用及び働きを理解。	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使ってプレゼンテーション 	16	・プレゼンテーションによく使われるパワーポイントの使い方を身につけることができたか。
	12				16	
3	1				8	・パワーポイントを使ってプレゼンテーションができたか評価する。(B、C、D)

教科名	総合	科目名	一般教養演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(キャリア・公務員)	履修形態	必修	
科目の目標	公務員、就職試験に向けて様々な検定などを用いながら、実社会で活用できる表現力、一般常識の向上を図り、第一志望合格を目指す。					
学習内容の概要	SPI2試験、ニュース検定、語彙読解力検定などの問題集を解きながら、資格取得と一般常識の修得させる。 日々の新聞記事なども用いて世の中の動きへの理解を深める。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	時事問題に興味をもち、社会人としての知識を養う姿勢がある。	非言語分野において、素早い計算能力と判断力を身につける。	正しい敬語を用いて話すことができる。また、より向上しようとする姿勢がある。	漢字や言葉の意味、簡単な計算など正しく理解し、適切に用いることができる。		
教科書、教材など	ニュース検定公式テキスト問題集 語彙能力検定合格力養成BOOK 高校生 就職面接の受け方答え方					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6 7 8	講義と問題演習 面接練習 個別面談	問題を解くことで理解を深め知識の定着を図る。	語彙能力検定受検	6 6 8 8 2	科目的評価基準に準ずる。
2	9 10 11 12	新聞の読み方講座	新聞を通して世の中の流れや動きを知る術を身につける。	ニュース検定受検	8 8 8 8	
3	1				4	

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位		
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修		
科目の目標	○各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。○体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。						
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。						
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解			
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。			
教科書、教材など	特になし						
授業形態	実技(男女別合併授業)						
年間授業計画							
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価	
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	9	授業中の行動の観察	
	5	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習する。	9	授業中の行動の観察 評価テスト(総時数6時間)	
		体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	健康の保持増進や体力の向上を図る。		授業中の行動の観察 実技テスト	
		新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。		診断テスト結果	
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目特有の技能を高めることができるようとする。	9	授業中の行動の観察 実技テスト	
		ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたバット操作、走塁の攻撃と守備などの攻防を展開する。	12	授業中の行動の観察 実技テスト	
		7	バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたボール操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	12	授業中の行動の観察 実技テスト
	2	8				3	
		9				12	
		10	サッカー	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	作戦に応じた技能で仲間と連携してゲーム展開が出来るようとする。	12	授業中の行動の観察 実技テスト
	11	バスケットボール			12		
	12	バドミントン		安定した用具の操作とペアと連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	12		
3	1			6	授業中の行動の観察 実技テスト		

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(キャリア公務員・保育)	履修形態	必修	
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させる。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに文体の表現上の特色をとらえる。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとつたりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	新 高等学校現代文B(明治書院)新 高等学校現代文B 学習課題ノート(明治書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	はじめての失敗	随想を読み、新たなものの見方を知る。	自分にとって失敗とはどういうものであったか、具体的にまとめる。	9	授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	5	おまえはどこに立っている	随想を読み、ものの捉え方や文章の組み立て方を学ぶ。	主題について表現に注意して読み味わう。	9	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
	マスク	登場人物の心理を受験という状況に即してとらえる。	表現の特徴や主題について話し合う。		12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
	6	オデュッセイア	小説の特徴を掴み、その特徴を生かした物語の構造について理解を深める。	構成や表現の特徴をつかんで主題を探る。		授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
		言葉を理解する	論理的な文章の読み方を習得する。	抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解する。		授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	7	小説とは何か	評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。	小説の面白さとは何か、話し合う。	12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出

		わたし가一番きれ いだったとき	語句の意味、用法を 理解し、語彙を豊かに する。	韻律に注意し、描か れた情景や心情にふ さわしい朗読を工夫 する。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
2	8	九月の風	詩にこめられた情景や 心情を読み取る。		3	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	9	流星		文体や修辞技法など の表現の工夫から特 色と効果を考える。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		博士の愛した数式	近代・現代小説の名 作に触れ、自分にひき つけながら読む態度を 養う。	個々の場面のエピ ソードの意味を全体 の流れから考える。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	10	怖れ	空想によって作られた 小説のおもしろみをつかむ。	構成や表現における 作者の工夫を的確に 読み取る。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		あるいは「風」につ いて	長い評論の文章につ いて、論の組み立て方 や要旨をとらえる。	日本の伝統芸能の本 質について、文意に 沿ってまとめる。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	11	物の見えたる光	要旨や構成を把握し、 引用文の効果的な使 い方を学ぶ。	ジャヴェルの言葉と 引用されている芭蕉 の俳句との共通点を 話し合う。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「世間」とは何か	ものごとを根本から考 える姿勢を学ぶ。	社会関係の実相を日 欧の対比から考え る。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	12	舞踏会	小説の時代背景、場 面設定、登場人物の 人物像や心情をつか む。	鹿鳴館とは、明治時 代の日本でどのような 意味を持つかなど、 時代背景を調べる。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		サフラン	明治期の隨想を読 み、現代にも通じるも のの見方を知る。	「物語のモラル」とは 何か、話し合う。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
3	1	私の個人主義	作品の主題を理解し、 人や人生に対する見 方を深める。	構成や表現における 作者の工夫を的確に 読み取る。	6	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(大学進学クラスを除く)	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の定着と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校内容から数学IAの全範囲までの基礎基本を確認しながら数学検定準2級までを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 数学への関心・意欲・態度 既習内容の全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	B 数学的な見方や考え方 事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、既習内容の全範囲における数学的な見方や考え方を身につけている。	C 数学的な表現・処理 既習内容の全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	D 数量・図形などについての知識・理解 既習内容の全範囲における基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	創育 数学検定問題集準2級 数研出版 最新 数学I, 最新 数学A, 3ROUND数学I+A					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1. 方程式と不等式	基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身につける。 各項目において基本レベルから標準レベルの問題の解法を身につける。	例題で基本事項をおさえ、類題を解く。	6	A/B/C/Dの総合評価
	5	2. 関数とグラフ			6	
	6	3. 平面図形			8	
	7	4. 三角比			8	
	8	5. 場合の数と確率			2	
2	9			8		
	10			8		
	11			8		
	12	実践問題		8		
3	1			4		

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語II		単位数	3 単位			
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース (キャリア・保育・看護分野)	履修形態	必修				
科目的目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。							
学習内容の概要		<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとめのある文章を書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>							
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)		A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化について の 知識・理解				
		コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。	英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。	英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。	英語やその運用について の知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。				
教科書、教材など		VISTA English Communication II New Edition(三省堂)							
授業形態		講義・演習(学級単位による授業)							
年間授業計画									
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価			
1	4	Take a Break!4	・「Heal the World」の歌を通して、英語の歌詞に親しむ。	〈歌ってみよう〉 マイケル・ジャクソン 『Heal the World』	9	B,C,D			
	5	Lesson8 Shodo, Old and New	・伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。 ・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。	書道パフォーマンス —伝統文化を新しいスタイルで... (病院で)	9	B,C,D			
	6	ENJOY COMMUNICATION!4 What's the Matter? Look and Learn4	・文法のまとめ(itのいろいろな用法・さまざまな否定・現在完了形のまとめ) ・パラグラフの構成を把握する。	(itのいろいろな用法・ さまざま否定・現在 完了形のまとめ) (パラグラフの構成を把 握しよう)	12	A,B,C B,C,D			
	7	Reading Skill4 Lesson9 Water World	・昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割		12	B,C,D			

8	Take a Break!5 新年カードクイズ	を考える。 ・さまざまな国の新年の挨拶を通して、各言語に親しむ。	〈政界の言語で「あけましておめでとう」〉		B,C,D
9	Lesson10 A Long Friendship	・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。 ・文法のまとめ(関係代名詞・いろいろな受け身・過去完了形)	・日本とトルコの友好関係	3 12	B,C,D
10	Look and Learn5 ENJOY READING! I'm afraid of Manju!	・落語『まんじゅうこわい』を鑑賞する。	(関係代名詞・受け身・過去完了形) 落語『まんじゅうこわい』の鑑賞	12	C
11	問題演習及び 卒業制作			12	A,B,C,D
12				12	
1				6	

教科名	総合	科目名	自己表現	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育・幼教)	履修形態	必修	
科目の目標	1. 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 2. 子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。					
学習内容の概要	保育関係に就職したときに必要となる折り紙や絵本の読み聞かせを練習し、子どもが楽しめるような作品を制作する。さらに幼稚園実習を通して実践的な力を養う。また知識の習得のため保育技術検定の取得も行う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	保育に対する関心をもち、子どもの発達に関して意欲的に学習する態度を身につけている。		作品づくりを通して、子どもが関心を抱くものを見いだすことができる。	作品づくりや実習を通して、子どもが関心を抱くものを作成する能力と技術を身につけている。	子どもの発達段階を理解し、発達段階に応じた対応を身につけていく。	
教科書、教材など	講義について: コース単位による授業 実験実習について: グループによる展開					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6 7	オリエンテーション 幼稚園実習	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習で子どもや保育について実地で学び、子どもと適切にかかわる力を身につけさせる。 ・乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させる。 ・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につけさせる。 ・言葉だけでなく作品により自己紹介をさせる。 ・教室に掲示する季節ごとの掲示物をグループで作成させる。(夏) ・様々な玩具づくりをさせる。 ・遊びの体験をさせる。 ・絵本の読み聞かせの練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方について ・子どもと直接かかわり、子ども理解を深める。 ・子どもの心身の発育発達を知る。 ・保育や保育者の役割について学ぶ。 ・自分への理解を深める。 作品による自己紹介 ・運動会でパフォーマンスを披露する。 ・自己紹介をする。 ・見学、給食補助をする。 ・掲示物作成をする。 ・表現遊び ・リズム体操 ・リトミック ・折り紙 ・絵本の読み聞かせ ・玩具 ・歌遊び ・手遊び ・運動会練習補助をする。 ・保育参加をする。 ・音楽・劇発表会の練習を見学する。 	4 6 6 6	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的にかかわりながら、理解しようとする。</p> <p>子どもを取り巻く状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。</p> <p>(思考・判断)</p> <p>・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけて、解決への考えをまとめることができ</p> <p>(技能・表現)</p> <p>・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。</p> <p>・言葉だけではない自己紹介をいかに意欲的に取り組もうとしたか。</p> <p>・夏をテーマにした教室の掲示物を完成させることができたか。</p> <p>・折り紙を子どもが興味をもつような工夫を行うことができたか。</p>

2	8 9 10 11 12 3	発表会実践 (お話タイム)	・学習発表づくりをさせ る。	・幼稚園実習で発表す る発表をグループで準 備する。 ・調べ学習をする。 ・グループ発表する。 (お話タイム) ・幼稚園実習で発表す る発表をグループで準 備する。 ・調べ学習をする。 ・グループ発表する。 (お話タイム)	2 8 8 8 6 6	・実習で子どもたちと積極的に触 れ合い、子どもの接し方を学ぼう としたか。 ・作品づくりに意欲的に取り組もう としたか。 ・絵本の読み方を工夫したか。 ・紙芝居の読み方を工夫したか。 ・パフォーマンスの練習に意欲的 に取り組もうとしたか。 ・今年度学んだことを活かした發 表をすることができたか。
---	-------------------------------	------------------	-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教科名 対象学年	地理歴史 第3学年	科目名 対象コース	地理A 普通コース キャリア・保育	単位数 履修形態	2単位 必修	
科目の目標	1地理への興味・関心を持ち、主体的に学習する態度を育てる。 2現代世界についての地理的な認識をいっそう深めるとともに、国際社会における立場と役割を考えさせる。					
学習内容の概要	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	現代世界の地形的な諸課題に対する関心と課題意識を高め追求し、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代社会の地理的事象から課題を見いだし、それを多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計などの諸資料を集め、有用な情報を選択、活用できるようにする。		現代世界の地理的な諸課題について基本的な事柄の追求の方針を理解し、その知識を身につけている。	
教科書、教材など	高等学校新地理A 初訂版(帝國書院)、新詳高等地図 初訂版(帝國書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第1部 1章 1節 1 地上の現象と地球上の位置 2 経度の違いと時差 3 球面と平面の世界 4 国家の領域と国境 5 日本の領域と領土問題	地図上の位置と国家について理解する	・緯度や経度の基本的なしくみと、時差のしくみについて理解する ・地球を地図におきかえるさまざまな図法について理解する ・国家の領土・領空・領海の範囲について理解する ・日本の位置と排他的経済水域の範囲や資源の利用について理解する	6	時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 国家の領域とさまざまな国境についての基本的な事がらを理解し、それらの知識を身につけている。
	5	2節 1 結びつきを強める現代世界 2 世界を結ぶ交通 3 世界を一つに結ぶ通信 4 拡大する世界の貿易 5 観光の国際化と人々の移動	グローバル化が進む世界について理解する	・国家間の結びつきが軍事的結合から経済的結合へと変化したことを理解する ・航空交通の発達により、地球規模での国際交流が活発化したことを探る ・日本における観光の国際化について理解する	6	結びつきを強める現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 国際的な観光の広がりについての基本的な事がらや追究の方針を理解し、その知識を身につけている。

	2章 1節 生活に影響を与える環境条件とは	生活に影響を与える環境条件について理解する	・自然環境と社会環境について理解する	世界の人々の生活・文化は、自然環境や社会環境と深く関わって成り立っていることを理解し、その知識を身につけています。人々の生活と地形に関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
6	2節 1 さまざまに変化する大地と生活 2 世界の大地形と人々の生活 3 山地・平野の地形と人々の生活 4 海岸の地形と人々の生活 5 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	人々の生活と地形について理解する	・地形を形成する内的・外的要因について理解する ・河川がつくる山地・平野の地形の種類や特徴と人々の生活との関係を理解する ・海岸でみられる地形の特徴と、人々の生活との関わりについて理解する ・氷河地形・カルスト地形・乾燥地形の特徴や人々の生活との関わりについて理解する	山地・平野・海岸・氷河・カルスト・乾燥地形と人々の生活との関わりについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
7	3節 1 生活と気候のかかわり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	人々の生活と気候について理解する	・気候の特徴と人間生活との関わりについて理解する ・各気候区の分布や特徴を理解する	気温・降水量・などの気候要素についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。 各気候帯に暮らす人々の生活についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
8	4節 1 生活を支える世界の農業 2 生活を支える世界の工業	人々の生活と産業について理解する	・農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する ・さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する	生活を支える世界の農業、工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
2	5節 1 生活と宗教・言語のかかわり 2 生活・文化のグローバル化	人々の生活と文化について理解する	・世界の三大宗教をはじめとする宗教の特徴や、宗教と人々の生活との関わりを理解する ・グローバル化が進む世界について、その影響を理解する	生活・文化のグローバル化をめぐる諸課題についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。
2	3章 1節 1 中国の自然環境 2 中国の歴史と社会 3 13億人の食を支える農業農民 4 急進する工業と資源・環境 5 生活の変化と格差の拡大	中国の生活と文化について理解する	・中国の社会が日本どのように異なるかを理解する ・気候と農業との関係と、地域により異なる食文化について理解する ・工業化の変遷とその背景について理解する	中国の内陸部と沿岸部、北部と南部の自然環境の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 中国の経済発展や地域格差についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけています。

	2節 1 朝鮮半島の自然環境 2 韓国の歴史と日本との交流 3 産業の発展と生活の変化	韓国の生活と文化について理解する	・経済発展に伴い、世界各国が注目していることを理解する ・日本と朝鮮半島をめぐる歴史や、韓国と北朝鮮との関係について理解する ・急速な工業の発展はどのようになしうたかを理解する	韓国の歴史や文化について、日本との関わりをふまえながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
9	3節 1 東南アジアの自然環境 2 東南アジアの歴史と民族 3 東南アジアの農業とその変化 4 工業の発展とASEAN	東南アジアの生活と文化について理解する	・歴史や、植民地支配とモノカルチャー経済との関係、多様な民族と文化について理解する ・さかんに行われている稻作の特徴について理解する ・ASEAN域内の結びつきと、近隣諸国との関係について理解する	8 東南アジアの歴史と民族に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。東南アジアの工業化について、モノカルチャー経済からの脱却やASEANの役割をふまえて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	4節 1 インドとその周辺の自然環境 2 インド世界の歩みとヒンドゥー教 3 インドの産業の発展	インドの生活と文化について理解する	・インドとその周辺の自然環境について理解する ・農業の展開を理解する ・自然環境にはどのような特徴があるかを理解する	インドとその周辺の自然環境の特徴について、山脈の位置や季節風(モンスーン)の影響と関連させながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	5節 1 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 2 地域の歴史とムスリムの生活 3 豊かな石油資源と人々の生活	中央アジア・西アジア・北アフリカの生活と文化について理解する	・乾燥した気候のもとで行われる灌溉農業について理解する ・イスラームの歴史と伝播について理解する ・イスラームと人々の生活との関わりを理解する	イスラームと人々の生活との関わりについて基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 豊かな石油資源と人々の生活について基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	6節 1 サハラ以南のアフリカの自然環境 2 サハラ以南のアフリカの歴史と文化 3 変わるサハラ以南のアフリカ	サハラ以南のアフリカの生活と文化について理解する	・アフリカの自然環境の特徴を理解する ・ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する	サハラ以南のアフリカの歴史とさまざまな民族の伝統的文化について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
10	7節 1 ヨーロッパの自然環境 2 ヨーロッパの歩みと文化 3 ヨーロッパの産業 4 ヨーロッパの統合 5 統合による影響と課題	ヨーロッパの生活と文化について理解する	・植民地支配の歴史とその影響について理解する ・多様な地形や、高緯度の割に温暖な気候について理解する ・キリスト教に深く結びついた文化と、宗派や言語の多様性について理解する	8 ヨーロッパの自然環境について、高緯度の割に温暖な気候や地域により異なる地形のようすをふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

	8節 1 ロシアとその周辺の自然環境 2 ロシアの歴史と社会の変化 3 ロシアの産業と日本との結びつき	ロシアの生活と文化について理解する	・ロシアの自然環境の特徴を理解する ・経済を支える資源をめぐる動きや、外国企業との関係について理解する ・自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する	ロシアの産業と日本との結びつきについて、ロシア経済を支える資源をめぐる動きや外国企業との関係をふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	9節 1 アメリカ合衆国との周辺の自然環境 2 移民の歴史と多文化社会 3 大規模な農業とアグリビジネス 4 先端技術産業の発展と工業の変化	アメリカ合衆国の生活と文化について理解する	・アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する	アメリカ合衆国の工業の変遷や先端技術産業の発展と地域経済統合について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
11	10節 1 ラテンアメリカの自然環境 2 混血社会と多様な文化 3 ラテンアメリカの産業とその変化	ラテンアメリカの生活と文化について理解する	・ラテンアメリカの自然環境について理解する ・大土地所有制と農業の変化について理解する	8 ラテンアメリカの産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	11節 1 オーストラリアとその周辺の自然環境 2 オーストラリアの結びつきの変化 3 自然を生かした産業	オーストラリアの生活と文化について理解する	・オーストラリアとその周辺の自然環境について理解する ・自然環境に適した農業が行われていることを理解する	オーストラリアとその周辺の自然環境についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 オーストラリアの自然を生かした産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	4章 1節 1 地球的課題の特性とその解決	複雑にからみ合う地球的課題について理解する	・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域的特徴があるかを理解する	複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	2節 1 さまざまな環境問題 2 热帯林の破壊とその解決 3 地球温暖化の現状と対策	世界の環境問題について理解する	・世界で起こるさまざまな環境問題について理解する ・地球温暖化によってどのような問題が発生するのか理解する	さまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
12	3節 1 限りある資源・エネルギー	世界の資源・エネルギー問題について理解する	・世界の資源やエネルギーはどこで生産、消費されているかを理解する	資源・エネルギーをめぐる問題とその対策や今後のエネルギーのあり方についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

	<p>4節</p> <p>1 人口増加と少子化・高齢化 2 地域で異なる人口問題</p> <p>5節 飢餓と飽食</p> <p>6節</p> <p>1 都市への人口集中と諸問題 2 地域で異なる都市・居住問題</p> <p>第2部 1章</p> <p>1 身近な地図とその特色 2 GISのしくみと使える技術 3 GIS技術の活用と地図 4 目的に合わせた地図の作成</p>	<p>世界の人口問題について理解する</p> <p>世界の食料問題について理解する</p> <p>世界の都市・居住問題について理解する</p> <p>身近にあるさまざまな地図について理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による人口問題の違いやその背景を理解する ・世界の食料生産・消費には著しいかたよりがあることを理解する ・都市への人口集中が世界的に進んだ背景と、どのような都市問題が発生しているのか理解する ・身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する ・GISやGPSのしくみについて理解する ・情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する 	<p>世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている</p> <p>世界の食料をめぐる課題について、生産と消費の著しいかたよりに着目し、その解決に向けた取り組みなどについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界の都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用について紙地図と比較しながら、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。自分で地図を作成することへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。</p>
3	<p>1 2章</p> <p>1 日本の自然環境 2 火山災害と防災 3 地震被害と防災 4 風水害と防災 5 身近な地域の防災を考える</p> <p>3章</p> <p>1 地域を調べる課題の設定 2 調査の実施 3 調査内容の発表</p>	<p>日本の自然環境と防災について理解する</p> <p>身近な地域の課題と地域調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然灾害と結びつくか理解する ・梅雨や台風の時期に発生しやすい風水害の種類と防災について理解する ・地域調査を行うためには、目的やテーマをはっきりさせることが大切であることを理解する ・調査内容のまとめ方や発表方法を習得し、実践する 	<p>4</p> <p>身近な地域で発生しやすい災害を捉え、自分たちにできることを考察し、その知識を身につけている。</p> <p>調査発表に資する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>調査内容のまとめ方や発表方法についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

教科名 対象学年	家庭 第3学年	科目名 対象コース	フードデザイン 普通コース(保育幼教・看護医療)	単位数 履修形態	2単位 選択必修
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の展望を持って生活することで充実した食生活を送る重要性を理解する。 ・多様化する家族の食生活のあり方、価値観の形成に関心を持つ。 ・自分や家族・家庭、地域の食生活に関する課題を見つけ、解決のための思考を深める。 ・多様な情報から必要な情報を的確に判断し選択することができる。 				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
食の役割に関心を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけようとする。		自分自身の食生活や食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。	調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。	食事の役割と意義について理解するとともに、豊かな食事を構成する要素として栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得することができる。	
教科書、教材など	教科書: フードデザイン（実教出版） 副教材: フードデザイン学習ノート（実教出版） 講義について: 学級単位による授業 実験実習について: グループによる展開				
授業形態	講義・実習(分野別単位による授業)				
年間授業計画					
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間
1	4	オリエンテーション 1章 食生活と健康	食事の意義と役割を理解し、栄養摂取の現状と問題点を把握することができる。	授業の進め方について 1節 食事の意義と役割 2節 食を取り巻く現状	6
関心・意欲・態度 自分自身の食生活や日本の食生活の現状に関心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。 思考・判断 心身共に健康で豊かな食生活を営むための食事の在り方にについて思考を深める。自分の食生活の現状を判断することができる。さらにレポートを通して発表することができる。 技能・表現 現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 知識・理解 食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康的な保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。日本の食生活の現状についての問題点が理解できる。					

2	5 6 7 8 9 10	2章 栄養素のはたらきと食事計画	栄養素の種類と働きを理解している。食事摂取基準を理解し、適切な食事計画を立てることができる。	1節 からだのしくみと食べ物 2節 炭水化物 3節 脂質 4節 たんぱく質 5節 ビタミン 6節 ミネラル 7節 水・その他の物質 8節 消化と吸収 9節 食事摂取基準と食事計画 10節 ライフステージと栄養計画	6 8 8 2 8 8 8	関心・意欲・態度 五大栄養素などの種類とはたらき、栄養素の消化と仕組みに関心を持とうとしている。ライフステージごとの栄養の特徴を知り、各ライフステージに応じた食生活に関心を持とうとしている。
	11	4章 調理の基本	食品の取り扱い・調理法を理解し、和食・洋食・中華などの調理実習に積極的に取り組んでいる。基本的な調理技術の習得ができる。	1節 調理とおいしさ 2節 調理操作 3節 調味操作	8	思考・判断 からだの中でそれぞれの栄養素がどのような働きをしているかを考え、各ライフステージに応じた食生活について判断することができる。 知識・理解 五大栄養素などの種類とはたらきについて知識を習得することができる。摂取した食物が消化・吸収され、排泄されるまでの仕組みが理解できる。エネルギーや各栄養素の食事摂取基準について理解できる。各ライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項について理解できる。 関心・意欲・態度 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 思考・判断 食物のおいしさは、味・香味・テクスチャー・温度などと関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理の出来上がりに与える影響について思考を深めることができる。 技能 調味、加熱やその他の調理操作が料理の出来上がりに大きく影響することを実験を通して観察し、考察することができる。日常食、行事食、供應食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけることができる。 知識・理解 日常食、行事食、供應食などの調理に必要な基礎知識を習得することができる。主な加熱操作と非加熱操作について、食品の調理性や栄養的特徴などと関わらせて理解できる。

	12	5章 料理様式とテーブルコーディネート	栄養・食文化・安全性等の視点を持ち、意欲的に取り組み、今後の食生活に生かせるような実践的な態度を身につけている。	1節 料理様式と献立 2節 テーブルコーディネート	8	<p>関心・意欲・態度 日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。</p> <p>思考・判断 食器、盛り付け、テーブルクロス、照明などについて適切な選択ができる。</p> <p>技能 様式別食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。目的に応じたテーブルコーディネートができる</p> <p>知識・理解 日本料理、西洋料理、中華料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴や献立構成を理解できる。季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出する必要があることが理解できる。</p>
3	1	6章 フードデザイン実習	各ライフステージに合った献立や行事食を理解し、調理実習に積極的に取り組んでいる。調理実習を通して調理の知識を理解し、調理技術を習得できている。栄養・経済性・季節感等を考慮しながら献立を立て実習することができる。	1節 献立作成	4	<p>関心・意欲・態度 食事のテーマにふさわしい献立や食卓の考え方、周囲の環境づくりをおこなおうとする</p> <p>技能 食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと料理のサービス方法など一連の流れを計画し実践できる。</p> <p>知識・理解 食育の意義と活動に関心を持つとしている。</p>
		7章 食育		1節 食育の意義と推進活動		<p>思考・判断 食についての課題を見いだし、その解決を目指した食育活動について思考を深めることができる</p> <p>技術 食育活動について情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。</p> <p>知識・理解 食育基本法の理念を知り、食育に関する様々な活動が行われていることを理解できる。</p>

教科名	外国語	科目名	英会話	単位数	2 単位	
対象学年	第 3 学年	対象コース	普通(キャ・公・保・幼・看医)	履修形態	必修	
科目の目標	The objective of this subject is to exercise the students English listening & speaking skills.					
学習内容の概要	The students will be introduced 12 topic/theme based lessons. Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises in class.					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A: Vocabulary/Grammar	B: Listening skills	C: Speaking skills	D: Presentation skills		
	Vocabulary and grammar will be assessed when writing presentation scripts.	Listening comprehension will be assessed during presentations & listening tests.	Pronunciation, intonation, rhythm & fluency will be assessed during presentations.	Presentation skills to enhance oral presentations will be assessed during presentations.		
教科書、教材など	Atlantis English Conversation					
授業形態	Students will work in small groups					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson 1 - I like meeting new people	Expressing your likes (to+infinitive, Gerunds)	All lessons will encompass the following;	6	All lessons require students to make an oral presentation which will be assessed on a number of criteria
	5	Lesson 2 - I usually wake up at 7	Daily routines (frequencies adverbs)	1. Looking up the meaning of the target vocab	6	
	6	Lesson 3 - We're taking a trip	Making a plan (future tense)	2. Understanding and practising the target grammar points	8	
	7	Lesson 4 - How about going to ...	Making a simple proposal	3. Use the vocab & grammar to write a monologue/dialogue script	8	
	8	Lesson 5 - You should take your ...	Giving someone general advice	4. Use the script to practise speaking skills	2	
	9	Lesson 6 - We are not allowed to ...	Talking about cans & cannots		8	
	10	Lesson 7 - How was your vacation	"how/was/were/did" questions		8	
	11	Lesson 8 - I used to live in America	Understanding & using "How long ..." questions		8	

	12	Lesson 9 – What were you doing on ...	Questioning in past progressive tense	8	
3	1	Lesson 10 – Who is the funniest person	Describing using types of adjectives	4	
	2	Lesson 11 – How long have you ...	Questioning in perfect present tense	6	
	3	Lesson 12 – I wish I were rich	Stating a wish or belief	6	

教科名	家庭	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育・幼教)	履修形態	選択必修	
科目の目標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。乳幼児の健全な成長に关心を持ち、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。					
学習内容の概要	少子高齢化への対応や持続可能な社会の構築、食育の推進、男女共同参画社会の推進等を踏まえて、自立して生活する能力と異なる世代とかかわり、共に生きる力を育てることを重視している。人の一生を見通し、衣食住生活についての科学的な理解を深めるとともに、授業以外の生活設計の学習を通して、生涯にわたってこれらの能力を活用して課題を解決できるようにする。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとともに、実践的な態度を身につけていく。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけていく。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。		
教科書、教材など	教科書:「家庭305 子どもの発達と保育」(実教出版) 副教材:「子どもの発達と保育学習ノート」(実教出版) 講義について: 分野別単位による授業 実験実習について: グループによる展開					
授業形態	講義・演習(分野別単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6 7	3章 子どもの生活 1節 生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 食習慣の形成 4 衣生活と育児用品 2節 子どもの遊び 1 生活と遊び 2 遊びの援助 3節 生活習慣の形成 1 生活習慣の意義 2 基本的生活習慣 3 社会的生活習慣 4節 健康管理と事故防止 1 日常の健康管理 2 病気の看病と予防 3 事故の防止と応急処置	・乳幼児の生活の特徴を学び、健康を保持増進し、順調な成長を促すうえで、発育・発達に応じた養護が必要なことを理解させる。	3章 子どもの生活 ・離乳食・乳児食実習 ・布おむつと紙おむつの特徴を調べ、それぞれどのような利点があるか考えさせる。 ・乳幼児の発達に合った児童文化財や道具を制作させる。 ・手遊び、読み書き、運動遊びなど実際に活動させる。 ・乳幼児の発達段階に合わせた生活習慣について、演技実習を通して学習を深めさせる。 ・基本的な看護と事故の応急処置方法について、実習を通して学習を深める。	6 6 8 8	(関心・意欲・態度) ・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的にかかわりながら、理解しようとする。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 (思考・判断) ・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけて、解決への考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・子どもの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 (知識・理解) ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。

2	8 9 10 11 12	4章 子どもの保育 1節 保育の意義と重要性 1 保育とは 2 人間形成と保育 2節 家庭保育と集団保育 1 家庭保育 2 集団保育 3節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 指導のポイント 5章 子どもの福祉 1節 子どもの福祉 1 児童福祉の理念 2 児童福祉に関する法律 3 児童福祉のための機関・協会 2節 子育て支援 1 社会的支援の必要性 2 児童虐待とその予防 3 これからの子育て支援 4 子育て支援の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義と重要性に关心を持ち、家庭保育と集団保育それぞれの特徴や役割、子どもの発達には両方が必要となることを理解する。また、保育環境の変化に伴う今後の保育の課題を考えさせる。 ・子どもの福祉に心を向けて、児童福祉の理念や法律と制度について理解させる。 ・子育て支援の意義と現状を理解し今後の課題と展望を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4章 子どもの保育 ・ロールプレイングを通して、子どもへの適切な対応を理解する。 ・子ども体験(チャイルドビジョン)を通して、子どもの目線や視野を体験し、子どもへ対応や配慮の仕方について考えさせる。 ・子どもの福祉にかかわる法律や制度にはどのようなものがあるか調べさせる。 ・子育てに関する社会的支援にはどのようなものがあるか調べさせる。 ・新聞やニュースなどをもとに児童虐待について考えさせる。 	2 8 8 8 8
3	1			4	

教科名	家庭	科目名	子ども文化	単位数	2 単位								
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育・幼教)	履修形態	選択必修								
科目の目標	1. 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 2. 子どもの健全な成長に关心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。												
学習内容の概要	保育関係に就職したときに必要となる折り紙や絵本の読み聞かせを練習し、子どもが楽しめるような作品を制作する。さらに幼稚園実習を通して実践的な力を養う。また知識の習得のため保育技術検定の取得も行う。												
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関心・意欲・態度</th> <th>思考・判断</th> <th>技能・表現</th> <th>知識・理解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育に対する関心をもち、子どもの発達に関して意欲的に学習する態度を身につけている。</td><td>作品づくりを通して、子どもが関心を抱くものを見いだすことができる。</td><td>作品づくりや実習を通して、子どもが関心を抱くものを作成する能力と技術を身につけている。</td><td>子どもの発達段階を理解し、発達段階に応じた対応を身につけていく。</td></tr> </tbody> </table>					関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	保育に対する関心をもち、子どもの発達に関して意欲的に学習する態度を身につけている。	作品づくりを通して、子どもが関心を抱くものを見いだすことができる。	作品づくりや実習を通して、子どもが関心を抱くものを作成する能力と技術を身につけている。	子どもの発達段階を理解し、発達段階に応じた対応を身につけていく。
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解										
保育に対する関心をもち、子どもの発達に関して意欲的に学習する態度を身につけている。	作品づくりを通して、子どもが関心を抱くものを見いだすことができる。	作品づくりや実習を通して、子どもが関心を抱くものを作成する能力と技術を身につけている。	子どもの発達段階を理解し、発達段階に応じた対応を身につけていく。										
教科書、教材など	教科書:「子ども文化」(教育図書) 講義について: コース単位による授業 実験実習について: グループによる展開												
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)												
年間授業計画													
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価							
1	4 5 6 7	オリエンテーション 幼稚園実習	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習で子どもや保育について実地で学び、子どもと適切にかかわる力を身につけさせる。 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させる。 子どもの健全な成長に关心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につけさせる。 言葉だけでなく作品により自己紹介をさせる。 教室に掲示する季節ごとの掲示物をグループで作成させる。(夏) 様々な玩具づくりをさせる。 遊びの体験をさせる。 絵本の読み聞かせの練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方について 子どもと直接かかわり、子ども理解を深める。 子どもの心身の発育発達を知る。 保育や保育者の役割について学ぶ。 自分への理解を深める。 作品による自己紹介 運動会でパフォーマンスを披露する。 自己紹介をする。 見学、給食補助をする。 掲示物作成をする。 表現遊び リズム体操 リトミック 折り紙 絵本の読み聞かせ 玩具 歌遊び 手遊び 運動会練習補助をする 保育参加をする。 音楽・劇発表会の練習を見学する。 	6 6 8 8	<p>(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的にかかわりながら、理解しようとする。 子どもを取り巻く状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 <p>(思考・判断)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができ <p>(技能・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 <p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 言葉だけではない自己紹介をいかに意欲的に取り組もうとしたか。 夏をテーマにした教室の掲示物を完成させることができたか。 折り紙を子どもが興味をもつような工夫を行うことができたか。 							

2	8 9 10 11 12	発表会実践 (お話タイム)	・学習発表づくりをさせ る。	・幼稚園実習で発表す る発表をグループで準 備する。 ・調べ学習をする。 ・グループ発表する。 (お話タイム) ・幼稚園実習で発表す る発表をグループで準 備する。 ・調べ学習をする。 ・グループ発表する。 (お話タイム)	2 8 8 8 4	・実習で子どもたちと積極的に触 れ合い、子どもの接し方を学ぼう としたか。 ・作品づくりに意欲的に取り組もう としたか。 ・絵本の読み方を工夫したか。 ・紙芝居の読み方を工夫したか。 ・パフォーマンスの練習に意欲的 に取り組もうとしたか。 ・今年度学んだことを活かした發 表をすることができたか。
3	1					

教 科 名	科 目 名	簡易ソフト	単位数	2 単位		
対 象 学 年	第 3 学 年	対象コース	普通コース	履 修 形 態		
科 目 の 目 標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・操作を学習する。基礎的な関数を学び、与えられた問題を理解し、素早く処理する応用能力、実務的能力を身につけさせる。また、表計算の応用・ポスター等の作成により幅広く表計算ソフトが使えるようにする。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定3級基準の用語の学習 ハードウェア、ソフトウェア、通信ネットワーク ・集計処理、図形処理 					
科 目 の 評 価 基 準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。	B 思 考 ・ 判 断 情報をビジネスに活用するために目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用し、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。	C 技 能 ・ 表 現 表計算ソフトウェアを用いて情報の整理や加工分析などの基礎的な技術を身につけることができる。	D 知 識 ・ 理 解 ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するために必要な知識を身につける。		
教科書、教材など	全商情報処理検定模擬試験問題集3級(実教出版)					
授 業 形 態	講義・演習					
年 間 授 業 計 画						
学 期	月	单 元	单 元 の 目 標	学 习 内 容 (実験・実習等)	時 間	評 価
1	4	コンピュータ3級の関数	コンピュータの応用的な仕組みや働きを理解。高度な関数の働きを理解及び図形作成。	<ul style="list-style-type: none"> ・3級の関数 ・ワークシートの利用 ・集計処理、番地、並べ替え ・関数の利用 	6	・コンピューターの応用的な仕組みや働きを理解できた
	5	集計処理 図形処理		<ul style="list-style-type: none"> ・判定、論理演算 ・行方向、列方向の参照 ・行方向、列方向の検索 ・順位付け、カウント ・最大値、最小値 	6	・高度な関数を身につけることができたか。(A、C)
	6				8	
	7				8	
2	8			<ul style="list-style-type: none"> ・条件付き合計 ・応用的な図形処理 	2	
	9	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識			8	
	10	通信ネットワーク・モラル・セキュリティに関する知識			8	
	11	検定模擬問題	全商情報処理検定の模擬問題を学習し、必要な技法・知識を定着する。		8	・検定模擬問題を繰り返し解き、必要な知識、技能が習得できたか確認する。(B、C、D)
3	1				8	
					4	

教科名	芸術	科目名	美術演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育幼児教育)	履修形態	必修	
科目の目標	<p>・美術の学習内容に関心をもち、制作や鑑賞への憧れや期待をもっていく。 ・幼児教育において、必要な、図画、工作の技術を身につける。学習の目標をもたせ、学習意欲を高める。</p>					
学習内容の概要	<p>・折り紙、季節カレンダー、オリジナル紙芝居、塗り絵、似顔絵、立体動物工作の作成。土ねんど制作。</p>					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 幼児教育に関心を持ち、幼児保育の諸活動において芸術活動を主体的に活用しようとする。	B 思考・判断 幼児教育の芸術活動に活用するために目的に応じた道具や技法を選択して利用し、年齢に対応した制作活動の適切な判断ができる。	C 技能・表現 様々な技法を用いて基礎的な技術を身につけ芸術活動が活用ができる。	D 知識・理解 幼児教育の芸術活動の意義と役割を理解するとともに、それを実践するために必要な知識を身につける。		
教科書、教材など	折り紙、画用紙、色鉛筆、クレヨン、土ねんど、工作紙。					
授業形態	講義・演習					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション	幼児教育の芸術活動について理解する。		6	・幼児教育を理解できたか。
	5	折り紙の制作		高度な折り紙の作成	6	・高度な折り紙を身につけることができたか。
	6				8	
	7	似顔絵の制作		友人の似顔絵の作成	8	
	8				2	
2	9	オリジナル季節ポスター作成		四季の中で、どれか	8	・ポスター作成により様々な技法を身につけることができたか。(A、B、C)
	10				8	
	11	紙芝居の制作		自ら作った話で、紙芝居の作成	8	・紙芝居を使ってプレゼンテーションができたか評価する。(B、C、D)
	12	粘土の制作		粘土で動物を作る	8	
3	1				4	

教科名	芸術	科目名	音楽演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育・幼児教育系進学)	履修形態	必修	
科目の目標	・保育・幼児教育で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技術の基礎を身に付ける。					
学習内容の概要	・バイエルピアノ教本を用い、ピアノ演奏の基礎を学ぶ。 ・子どもの歌のピアノによる伴奏・弾き歌いなどを学ぶ。 ・幼稚園に出向き、実際の授業を見学する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	意欲・関心・態度 音楽を愛好し、音や音楽に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	芸術的な感受や表現の工夫 感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り創造的な音楽活動の工夫をする。	創造的な表現の技能 自己のイメージをもち創造的な表現をするための技能を身に付けている。	鑑賞の能力 多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。		
教科書、教材など	バイエルピアノ教本 電子ピアノ					
授業形態	実技					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション ピアノ実技	ピアノ演奏の基礎を身に付ける。	バイエルピアノ教本 No.51～No.60	6	正しい姿勢と正確な運指で演奏することができたか。
	5				6	
	6	幼稚園授業見学 子どもの歌の弾き歌い	子どもに動きや指導の様子を理解する。 ピアノ演奏しながら歌う技術を身に付ける。	見学レポート作成 「大きな古時計」	8	子どもに動きや指導の様子を理解することができたか。
	7				8	
2	8	ピアノ実技	ピアノ演奏の基礎を身に付ける。	バイエルピアノ教本 No.61～No.80	2	正しい姿勢と正確な運指で演奏することができたか。
	9				8	
	10	幼稚園授業見学 子どもの歌の弾き歌い	子どもに動きや指導の様子を理解する。 ピアノ演奏しながら歌う技術を身に付ける。	見学レポート作成 「故郷」	8	子どもに動きや指導の様子を理解することができたか。 正確な運指と音程で演奏することができたか。
	11				8	
3	12				8	
	1	ピアノ実技	ピアノ演奏の基礎を身に付ける。	「エリーゼのために」	4	正しい姿勢と正確な運指で音楽的な演奏することができたか。
	2					
	3					

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位		
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修		
科目の目標	○各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。○体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。						
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。						
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解			
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行き方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行き方を理解し、知識を身につけている。			
教科書、教材など	特になし						
授業形態	実技(男女別合併授業)						
年間授業計画							
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価	
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	9	授業中の行動の観察	
	5	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習する。		授業中の行動の観察	
		体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	健康の保持増進や体力の向上を図る。		評価テスト(総時数6時間)	
			新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。		授業中の行動の観察
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目特有の技能を高めることができるようとする。	9	実技テスト	
			ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたバント操作、走塁の攻撃と守備などの攻防を展開する。	12	診断テスト結果
			バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたボール操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	12	授業中の行動の観察
	2	7				実技テスト	
		8				3	授業中の行動の観察
		9				12	実技テスト
	10				12	授業中の行動の観察	
		11	サッカー	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	作戦に応じた技能で仲間と連携してゲーム展開が出来るようとする。	12	実技テスト
12		バスケットボール			12		
3	1	バドミントン		安定した用具の操作とペアと連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	6	授業中の行動の観察	
						実技テスト	

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(看護福祉・文芸大学)	履修形態	必修	
科目の目標	近代以降の優れた文章や作品を読み解し鑑賞する能力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、更に言語感覚を磨き表現力を身につけ、自ら積極的に読書する姿勢を身につけることにより人生を豊かにする態度を育てる。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 文章の的確な読み解きを通して、客観的な理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。 現代社会で求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合つたりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	<p>教科書:精選現代文B (東京書籍)</p> <p>補助教材:精選現代文B 学習課題ノート(東京書籍)、常用国語便覧(浜島書店)</p>					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	文学の未来 言語と記号	抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	5	檸檬 スペインスタイルの家	小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、題名について考える。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	6	環境問題と孤立した個人 鏡の中の現代社会	近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。	話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考え方を深める。 さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	7	クレールという女 言葉を生きる	随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。	自己の体験と結びつけて読み解き、話し合う。	12	・作品を表現に即して深く読み取り、作者の感動の焦点をおさえ、味わうことができたか。

2	8	社会の壊れる時	叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。	3	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		他者の声 実在の原始社会像の真実	筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	比喩や例示の意図を理解して要旨を捉え、哲学的な思考の方法を理解する。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		舞姫	筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	10	平気	文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。	時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		私大試験対策	叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係を考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	11	トランジット	私大受験に向けた学力を身につける。	・一般選抜対策問題演習	12	読む能力、知識・理解
		サッカーにおける「資本主義の精神」	現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。	登場人物の言動・心理などを表現に即して読み取り、「出会い」の持つ意味について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		抗争する人間	社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	スポーツがいつ頃どのように成立したか、知っていることを発表したり、推測したりする。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
3	1	私大試験対策	私大受験に向けた学力を身につける。	・一般選抜対策問題演習	6	読む能力、知識・理解
		抗争する人間	社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、自らに即して考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(大学進学クラスを除く)	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の定着と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校内容から数学IAの全範囲までの基礎基本を確認しながら数学検定準2級までを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 数学への関心・意欲・態度 既習内容の全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	B 数学的な見方や考え方 事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、既習内容の全範囲における数学的な見方や考え方を身につけている。	C 数学的な表現・処理 既習内容の全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	D 数量・図形などについての知識・理解 既習内容の全範囲における基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	創育 数学検定問題集準2級 教研出版 最新 数学I, 最新 数学A, 3ROUND数学I+A					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1. 方程式と不等式	基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身につける。 各項目において基本レベルから標準レベルの問題の解法を身につける。	例題で基本事項をおさえ、類題を解く。	6	A/B/C/Dの総合評価
	5	2. 関数とグラフ			6	
	6	3. 平面図形			8	
	7	4. 三角比			8	
2	8	5. 場合の数と確率		2		
	9			8		
	10			8		
	11			8		
3	12	実践問題		8		
	1				4	

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3 単位								
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース (キャリア・保育・看護分野)	履修形態	必修								
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。												
学習内容の概要	(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとめのある文章を書く。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。												
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度</th> <th>B:外国語表現の能力</th> <th>C:外国語理解の能力</th> <th>D:言語や文化について の 知識・理解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。</td> <td>英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。</td> <td>英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。</td> <td>英語やその運用について の知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。</td> </tr> </tbody> </table>					A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化について の 知識・理解	コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。	英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。	英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。	英語やその運用について の知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。
A:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化について の 知識・理解										
コミュニケーションに 関心をもち、積極的に 言語活動を行い、コ ミュニケーションを図 ろうとする。	英語で話したり書いた りして、情報や考えな どを適切に伝えてい る。	英語を聞いたり読んだ りして、情報や考えな どを的確に理解してい る。	英語やその運用について の知識を身に付けている とともに、言語の背景に ある文化などを理解して いる。										
教科書、教材など	VISTA English Communication II New Edition(三省堂)												
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)												
年間授業計画													
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価							
1	4	Take a Break!4	・「Heal the World」の歌を通して、英語の歌詞に親しむ。	(歌ってみよう) マイケル・ジャクソン 『Heal the World』	9	B,C,D							
	5	Lesson8 Shodo, Old and New	・伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。 ・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。	書道パフォーマンス -伝統文化を新しいスタイルで... (病院で)	9	B,C,D							
	6	ENJOY COMMUNICATION!4 What's the Matter? Look and Learn4	・文法のまとめ(itのいろいろな用法・さまざまな否定・現在完了形のまとめ) ・パラグラフの構成を把握する。	(itのいろいろな用法・ さまざまの否定・現在 完了形のまとめ) (パラグラフの構成を把 握しよう)	12	A,B,C B,C,D							
	7	Reading Skill4 Lesson9 Water World	・昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割		12	B,C,D							

8	Take a Break!5 新年カードクイズ	を考える。 ・さまざまな国の新年の挨拶を通して、各言語に親しむ。	（政界の言語で「あけましておめでとう」）		B,C,D
9	Lesson10 A Long Friendship	・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。 ・文法のまとめ（関係代名詞・いろいろな受け身・過去完了形） ・落語『まんじゅうこわい』を鑑賞する。	・日本とトルコの友好関係 (関係代名詞・受け身・過去完了形) 落語『まんじゅうこわい』の鑑賞	3 12 12 6	B,C,D B,C,D B,C,D C A,B,C,D
10	ENJOY READING! I'm afraid of Manju!				
11 12 1	問題演習及び 卒業制作				

教科名	総合	科目名	自己表現	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(看護医療福祉)	履修形態	必修	
科目の目標	1. 看護・医療・福祉の各分野で求められる基礎的教養を養い、資質の向上を図る。 2. 面接対策・小論文対策など、受験に必要な準備を通して職業観やコミュニケーション能力を育成する					
学習内容の概要	希望進路実現に向けて、受験に必要な面接対策、小論文対策に重点を置く。また、2年次までに培ってきた相手に「伝える」・相手を「理解する」スキルをさらに高める。看護・医療・福祉の各分野における、最新の話題について各自が考え、意見を持つ取り組みをする。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解		
	看護・医療・福祉に関する諸問題に关心を持ち、疑問の解決や資質の向上を目指し意欲的に取り組むことができる。	目的や場に応じて効果的に話して的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による話し方・書き方ができ、自分の考えをまとめ、深めている。	看護・医療・福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その意義や社会的役割を理解している。		
教科書、教材など	適宜プリントやワークシートを配布し、看護ファイルに綴じて保存					
授業形態	一斉講義、講演、各種医療体験等					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	スピーチ 課題文型小論文	・自己の考えを整理し、適切な声の大きさと時間で話す。 ・課題文型小論文とはどういうものかを知る。	・テーマと時間を設定し、スピーチを行う。 ・課題文型小論文の実際と書き方のポイントを知る。	6	・関心・意欲・態度・表現方法で評価する。 ・関心・意欲・態度・書く能力で評価する。
	5	スピーチ 課題文型小論文	・自己の考えを整理し、適切な声の大きさと時間で話す。 ・課題文型小論文に慣れる。	・テーマと時間を設定し、スピーチを行う。 ・課題文型小論文を実際に書く。	6	・関心・意欲・態度・表現方法・表現内容で評価する。 ・関心・意欲・態度・書く能力で評価する。
	6	スピーチ 受験ノート準備	・自己の考えを整理し、適切な声の大きさと時間で話す。 ・受験ノートを用意し、面接準備を始める。	・テーマと時間を設定し、スピーチを行う。 ・ノートの準備の仕方を理解し、準備を始める。	8	・関心・意欲・態度・表現方法・表現内容で評価 ・関心・意欲・態度・進捗状況で評価する。

	7	模擬面接 課題文型小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の面接試験で頻出の質問への対応を準備する。 ・課題文型小論文に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の面接試験で頻出の質問に各自が答える。 ・課題文型小論文を実際に書いてみる。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度で評価する。 ・関心・意欲・態度・書く能力で評価する。
2	8	テーマ型小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ型小論文とはどういうものかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ型小論文の実際と書き方のポイントを知る。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・書く能力で評価する。
	9	受験校に応じた面接対策、小論文対策、現代文対策	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の受験校で出題される傾向を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の受験校で出題される問題や質問を調べ、対応した準備を開始する。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解・熟練度・進捗状況で評価する。
	10	受験校に応じた面接対策、小論文対策、現代文対策	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の受験校で出題される傾向に対応した準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の受験校で出題される問題や質問を調べ、対応した準備をする。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解・熟練度・進捗状況で評価する。
	11	入試対策（個別指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・各自に必要な入試対策を細かくサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導形式で、各自に必要な入試対策を行う。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解・熟練度・進捗状況で評価する。
	12	福祉施設での催し・展示企画（看護医療研究の施設訪問とタイアップ）	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって物事を考える力を養うと同時に、協調性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の方を対象としたイベントの企画立案を行う。また施設に展示する作品を制作する。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって物事を考える力を養うと同時に、協調性を高めることができたか。
3	1	看護数学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で必要となる計算について理解を深め、実践できる下地を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・百分率を中心、義務教育範囲を理解し、国家試験の計算問題を解く基礎を固める。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎数学の大切さに気付き、自ら学ぶ姿勢を身に付けることができたか。

教科名	公民科	科目名	公民	単位数	2単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース 看護医療系	履修形態	選択必修	
科目の目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	(1)現代社会における諸課題の中で、社会の在り方生き方を考察する基盤として、幸福・正義・公正などについて理解し、現代社会に対する関心を高めて、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 (2)現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解するとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解		
	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身につけているか。平和で民主的なよりよい社会に実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見出し、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身につけているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。また、学び方を身につけているか。		
教科書、教材など	4ステージ演習ノート 現代社会(数研) ※予定 最新現代社会資料集(第一学習社)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	
1	4	第5章 国際社会と 人類の課題	貿易と国際分業、外国為替の仕組み、国際收支等を理解する。また、戦後の国際経済の枠組みを理解する。	国際経済の しくみと動向	6	
	5		国際連合、東西対立等国際政治が抱える諸問題について様々な観点からとらえられるようにする。	国際政治の しくみと動向	6	
	6		国際経済、国際政治の基本を理解し、日本が国際社会において果たすべき役割を考察する。	国際社会の 現状と課題	8	
	7	《第3部》 ともに生きる社会を めざして	現代社会の課題を、幸福、正義、公正といった倫理的な視点にたって探求する。	個人と社会 社会と社会 現役世代と将来世代	8 2	
	8					

2	9	単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テストの出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	10	単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テスト演習の出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	11	総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	12	総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
3	1	本番形式の予想問題等を解くことにより実戦力を身につける。	共通テスト演習	4	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(保育幼教・看護医療)	履修形態	選択必修	
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の展望を持って生活することで充実した食生活を送る重要性を理解する。 ・多様化する家族の食生活のあり方、価値観の形成に関心を持つ。 ・自分や家族・家庭、地域の食生活に関する課題を見つけ、解決のための思考を深める。 ・多様な情報から必要な情報を的確に判断し選択することができる。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	食の役割に 관심を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけようとする。	自分自身の食生活や食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。	調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。	食事の役割と意義について理解するとともに、豊かな食事を構成する要素として栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得することができる。		
教科書、教材など	教科書: フードデザイン (実教出版) 副教材: フードデザイン学習ノート(実教出版) 講義について: 学級単位による授業 実験実習について: グループによる展開					
授業形態	講義・実習(分野別単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション 1章 食生活と健康	食事の意義と役割を理解し、栄養摂取の現状と問題点を把握することができる。	授業の進め方について 1節 食事の意義と役割 2節 食を取り巻く現状	6	<p>関心・意欲・態度 自分自身の食生活や日本の食生活の現状に关心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。</p> <p>思考・判断 心身共に健康で豊かな食生活を営むための食事の在り方にについて思考を深める。自分の食生活の現状を判断することができる。さらにレポートを通して発表することができる。</p> <p>技能・表現 現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。</p> <p>知識・理解 食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。日本の食生活の現状についての問題点が理解できる。</p>

2	5 6 7 8 9 10	2章 栄養素のはたらきと食事計画	栄養素の種類と働きを理解している。食事摂取基準を理解し、適切な食事計画を立てることができる。	1節 からだのしくみと食べ物 2節 炭水化物 3節 脂質 4節 たんぱく質 5節 ビタミン 6節 ミネラル 7節 水・その他の物質 8節 消化と吸收 9節 食事摂取基準と食事計画 10節 ライフステージと栄養計画	6 8 8 8 2 8 8 8	関心・意欲・態度 五大栄養素などの種類とはたらき、栄養素の消化と仕組みに関心を持とうとしている。ライフステージごとの栄養の特徴を知り、各ライフステージに応じた食生活に関心を持とうとしている。
	11	4章 調理の基本	食品の取り扱い・調理法を理解し、和食・洋食・中華などの調理実習に積極的に取り組んでいる。基本的な調理技術の習得ができる。	1節 調理とおいしさ 2節 調理操作 3節 調味操作	8	思考・判断 からだの中でそれぞれの栄養素がどのような働きをしているかを考え、各ライフステージに応じた食生活について判断することができる。 知識・理解 五大栄養素などの種類とはたらきについて知識を習得することができる。摂取した食物が消化・吸収され、排泄されるまでの仕組みが理解できる。エネルギーや各栄養素の食事摂取基準について理解できる。各ライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項について理解できる。 関心・意欲・態度 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 思考・判断 食物のおいしさは、味・香味・テクスチャー・温度などと関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理の出来上がりに与える影響について思考を深めることができる。 技能 調味、加熱やその他の調理操作が料理の出来上がりに大きく影響することを実験を通して観察し、考察することができる。日常食、行事食、供應食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけることができる。 知識・理解 日常食、行事食、供應食などの調理に必要な基礎知識を習得することができる。主な加熱操作と非加熱操作について、食品の調理性や栄養的特徴などと関わらせて理解できる。

	12	5章 料理様式とテーブルコーディネート	栄養・食文化・安全性等の視点を持ち、意欲的に取り組み、今後の食生活に生かせるような実践的な態度を身につけている。	1節 料理様式と献立 2節 テーブルコーディネート	8	<p>関心・意欲・態度 日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。</p> <p>思考・判断 食器、盛り付け、テーブルクロス、照明などについて適切な選択ができる。</p> <p>技能 様式別食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。目的に応じたテーブルコーディネートができる</p> <p>知識・理解 日本料理、西洋料理、中華料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴や献立構成を理解できる。季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出する必要があることが理解できる。</p>
3	1	6章 フードデザイン実習	各ライフステージに合った献立や行事食を理解し、調理実習に積極的に取り組んでいる。調理実習を通して調理の知識を理解し、調理技術を習得できている。栄養・経済性・季節感等を考慮しながら献立を立て実習することができます。	1節 献立作成	4	<p>関心・意欲・態度 食事のテーマにふさわしい献立や食卓の考え方、周囲の環境づくりをおこなおうとする</p> <p>技能 食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと料理のサービス方法など一連の流れを計画し実践できる。</p>
		7章 食育		1節 食育の意義と推進活動		<p>関心・意欲・態度 食育の意義と活動に関心を持つとしている。</p> <p>思考・判断 食についての課題を見いだし、その解決を目指した食育活動について思考を深めることができる</p> <p>技術 食育活動について情報を収集・整理し、考えをまとめることができ</p> <p>知識・理解 食育基本法の理念を知り、食育に関する様々な活動が行われていることを理解できる。</p>

教科名	外国語	科目名	英会話		単位数	2 単位		
対象学年	第 3 学年	対象コース	普通 (キャ・公・保・幼・看医)	履修形態	必修			
科目の目標	The objective of this subject is to exercise the students English listening & speaking skills.							
学習内容の概要	The students will be introduced 12 topic/theme based lessons. Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises in class.							
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A: Vocabulary/Grammar	B: Listening skills	C: Speaking skills	D: Presentation skills				
	Vocabulary and grammar will be assessed when writing presentation scripts.	Listening comprehension will be assessed during presentations & listening tests.	Pronunciation, intonation, rhythm & fluency will be assessed during presentations.	Presentation skills to enhance oral presentations will be assessed during presentations.				
教科書、教材など	Atlantis English Conversation							
授業形態	Students will work in small groups							
年間授業計画								
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価		
1	4	Lesson 1 - I like meeting new people	Expressing your likes (to+infinitive, Gerunds)	All lessons will encompass the following:	6	All lessons require students to make an oral presentation which will be assessed on a number of criteria		
	5	Lesson 2 - I usually wake up at 7	Daily routines (frequencies adverbs)	1. Looking up the meaning of the target vocab	6			
	6	Lesson 3 - We're taking a trip	Making a plan (future tense)	2. Understanding and practising the target grammar points	8			
	7	Lesson 4 - How about going to ...	Making a simple proposal	3. Use the vocab & grammar to write a monologue/dialogue script	8			
	8	Lesson 5 - You should take your ...	Giving someone general advice	4. Use the script to practise speaking skills	2			
	9	Lesson 6 - We are not allowed to ...	Talking about cans & cannots		8			
	10	Lesson 7 - How was your vacation	"how/was/were/did" questions		8			
	11	Lesson 8 - I used to live in America	Understanding & using "How long ..." questions		8			

	12	Lesson 9 - What were you doing on ...	Questioning in past progressive tense		8	
3	1	Lesson 10 - Who is the funniest person	Describing using types of adjectives		4	
	2	Lesson 11 - How long have you ...	Questioning in perfect present tense		6	
	3	Lesson 12 - I wish I were rich	Stating a wish or belief		6	

教 科 名	家庭	科 目 名	子どもの発達と保育	単位 数	2 単位
対 象 学 年	第 3 学 年	対象コース	普通コース(看護・医療)	履 修 形 態	選択必修
科 目 の 目 標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 乳幼児の健全な成長に关心を持ち、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける				
学習内容の概要	少子高齢化への対応や持続可能な社会の構築、食育の推進、男女共同参画社会の推進等を踏まえて、自立して生活する能力と異なる世代とかかわり、共に生きる力を育てることを重視している。人の一生を見通し、衣食住生活についての科学的な理解を深めるとともに、授業以外の生活設計の学習を通して、生涯にわたってこれらの能力を活用して課題を解決できるようにする。				
科目的評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	技能・表現	知識・理解
	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとともに、実践的な態度を身につけていく。		家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけていく。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
教科書、教材など	教科書:「家庭305 子どもの発達と保育」(実教出版) 副教材:「子どもの発達と保育学習ノート」(実教出版) 講義について: 分野別単位による授業 実験実習について: グループによる展開				
授 業 形 態	講義・演習(分野別単位による授業)				

年 間 授 業 計 画

学 期	月	单 元	单 元 の 目 標	学 习 内 容 (実 験・実 習 等)	時 间	評 価
1	4 5	オリエンテーション 1章 子どもの発達の特性 1節 発達と乳幼児の意義 2節 発達と保育環境 3節 児童観と発達観	・「子どもの発達と保育」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、座学や体験的学習の方法、評価方法を理解させる。 ・人間の発達に关心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を養う時期であることを理解させる。 ・乳幼児期は、親を中心とした身近な人との関わりにより心が安定し、考え方・感じ方・行動の仕方などが発達していくことを理解させる。 ・児童観・発達観は時代背景などにより変化していることを理解させる。 ・子どもの人権が保障されるようになった経過を理解させる。	授業の進め方について 1章 子どもの発達の特性 ・身近にいる乳幼児の観察や視聴覚教材を通して、乳幼児の持つ無限の可能性を認識し、学習を深める。 ・子どもにとって幸せとは何か、具体的にどのようなことが話し合わせる。	6 6	(関心・意欲・態度) ・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的にかかわりながら、理解しようとする。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 (思考・判断) ・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・子どもの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。
	6 7	2章 子どもの発達の過程 1節 子どもの発達 1 胎児の発育・発達 2 乳幼児の身体的特徴	・胎児の発育について理解し、生命誕生に関わる母体環境の重要性を理解させる。 ・乳幼児の身体発育の特徴と傾向を理解させる。	2章 子どもの発達の過程 ・母子健康手帳や親からの聞き取り調査を通して、自分の発達の過程を振り返り、個人差のあることに気付かせる。	8 8	(知識・理解) ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。

2	8 9 10	3章 子どもの生活 1節 生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 食習慣の形成 4 衣生活と育児用品 2節 子どもの遊び 1 生活と遊び 2 遊びの援助 3節 生活習慣の形成 1 生活習慣の意義 2 基本的生活習慣 3 社会的生活習慣 4節 健康管理と事故防止 1 日常の健康管理 2 病気の看護と予防 3 事故の防止と応急処置	・乳幼児の生理的特徴を学び、用語の重要性も理解させる。 ・発育の評価方法を学び、さらに乳幼児は発育の個人差が大きいことを理解させる。 ・発達における方向性や順序性の共通性を理解させる。 ・精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解させる。	3章 子どもの生活 ・離乳食・乳児食実習 ・布おむつ、紙おむつの特徴を調べ、それぞれどのような利点があるか考えさせる。 ・乳幼児の発達にあった児童文化財や道具の製作させる。 ・手遊び、運動遊びを実践する。 ・ロールプレイングを通して乳幼児の発達段階に合わせた生活習慣について学習を深めさせる。 ・基本的な看護と事故の応急処置について実習を通して学習を深めさせる。	2 8 8
11 12		4章 子どもの保育 1節 保育の意義と重要性 1 保育とは 2 人間形成と保育 2節 家庭保育と集団保育 1 家庭保育 2 集団保育 3節 保育の方法 1 保育者の役割 2 指導のポイント	・保育の意義と重要性に関心を持ち、家庭保育と集団保育それぞれの特徴や役割、子どもの発達には両者が必要であることを理解する。また、保育環境の変化に伴う今後の保育の課題を考えさせる。	4章 子どもの保育 ・ロールプレイングを通して、子どもへの適切な対応を理解する。 ・子ども体験(チャイルドビジョン)を用いて、子どもの目線や視野を体験し子どもへの対応や配慮の方について考えさせる。	8 8
3	1	5章 子どもの福祉 1節 子どもの福祉 1 児童福祉の理念 2 児童福祉に関する法律 3 児童福祉のための機関・施設 2節 子育て支援 1 社会的支援の必要性 2 児童虐待とその予防 3 これからの子育て支援 4 子育て支援の課題	・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律、制度について理解させる。 ・子育て支援の意義と現状を理解し、今後の課題と展望を考えさせる。	5章 子どもの福祉 ・子どもの福祉にかかる法律や制度にはどのようなものがあるか調べさせる。 ・子育てに関する社会的支援にはどのようなものがあるか考えさせる。 ・新聞やニュースなどをもとに児童虐待について考えさせる。	4

教科名	家庭	科目名	生活と福祉	単位数	2単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(看護・医療)	履修形態	選択必修	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭看護の基礎的な技術を習得する。 ・介護講習会に参加し、高齢者看護の現状を学び、高齢者介護に積極的に取り組む姿勢を養う。また、外部講師の授業もある。 ・高齢者との交流を大切にし、町内の人暮らし高齢者への季節ごとの手紙を書く。 					
学習内容の概要	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	<p>関心・意欲・態度</p> <p>毎時間の実習を意欲的に取り組む姿勢と介護について理解しようと努力する態度を身に付けています。</p>		思考・判断	技能・表現	知識・理解	
			高齢者の気持ちを理解して言動するように努力する態度を身に付けています。	技術の定着のために、発表をして評価する。	実習の記録・感想・テストで評価する。	
教科書、教材など	教科書:「生活と福祉」(実教出版) 副教材:「生活と福祉学習ノート」(実教出版) 講義について: 分野別単位による授業 実験実習について: グループによる展開					
授業形態	講義・演習(分野別単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション 1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 2節 ライフステージと健康管理	・家庭看護の基本的心構えを学ぶ。 ・看護の基本技術を学ぶ。 ・高齢者的心身の特徴を理解する。	授業の進め方について 1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 ・健康とは ・高齢社会における健康とQOL ・健康に影響を及ぼす要因 2節 ライフステージと健康管理 ・ライフステージと健康 ・生活習慣と健康	6	関心・意欲・態度 毎時間の実習を意欲的に取り組む姿勢と介護について理解しようと努力する態度を身に付けていますか。
	5			2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 1節 高齢化の現状 2節 高齢者の心身の特徴と病気 3節 高齢者の生活課題と施策	6	思考・判断 高齢者の気持ちを理解して言動するように努力する態度を身に付けていますか。
	6				8	技能・表現 技術の定着のために、発表します。レポート提出、制作物により表現力を評価する。
	7				8	知識・理解 実習記録・感想・テストの結果で評価する。
						テスト、プリント、ノート等の提出物の内容、実習等の

2	8 9 10 11 12 3 1	<p>3章 高齢者の自立支援</p> <p>1節 自立生活支援の基本となる考え方</p> <p>2節 高齢者介護</p> <p>4章 高齢者支援の法律と制度</p> <p>1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ</p> <p>2節 介護保険制度</p> <p>3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の介護技術を身に付ける。 ・応急手当を学び技術を身に付ける。 ・障害者を理解し共存する気持ちを養う。 	<p>3章 高齢者の自立支援</p> <p>1節 自立生活支援の基本となる考え方</p> <p>・尊厳・ノーマライゼーション</p> <p>・自立生活支援の意義</p> <p>・地域包括ケアシステムをめざした地域の役割</p> <p>2節 高齢者介護</p> <p>・高齢者介護の考え方</p> <p>・麻痺・視聴覚障害</p> <p>4章 高齢者支援の法律と制度</p> <p>1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ</p> <p>・社会保障・社会保障制度のしくみ</p> <p>・高齢者福祉のあゆみ</p> <p>2節 介護保険制度</p> <p>・介護保険制度スタートガイド</p> <p>・介護保険制度のしくみ</p> <p>3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム</p>	<p>2 8 8 8 8 4</p>	
---	------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------	--

教科名	学校設定科目	科目名	看護医療研究	単位数	2単位
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修
科目の目標	1. 看護医療福祉の各分野の基礎的・応用的事項を横断的に理解し、チーム医療に対する基本的な考え方を身に付けると同時に、他者を思いやり尊重する態度を養う。 2. 様々な学習体験を通じ、医療福祉従事者としての心構えを身に付けると同時に、必要とされる資質や知識・技術を身に付け高める。				
学習内容の概要	看護・医療・福祉の分野を切り離すことなく、互いの職務を理解し、また体験などを行うことでより幅広い資質と考えを身に付けた人間性を養う。現場の医療従事者の講話や自身の体験を通して、現場で求められる人物を理解すると同時に、関連する知識や技術を身に付ける。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解	
	看護・医療・福祉に関する諸問題に関心を持ち、疑問の解決や資質の向上を目指し意欲的に取り組むことができる。	諸体験を通して、各分野に求められる資質を考え、それを基にした学習意欲の喚起と実践を行なうことができる。	様々な体験を通して、各分野で求められる基礎的な技術の習得をしている。	看護・医療・福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その意義や社会的役割を理解している。	
教科書、教材など	適宜プリントやワークシートを配布し、看護ファイルに蓄積する。				
授業形態	一斉講義、講演、各種医療体験等				

年間行事計画

学期	月	單元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	看護医療福祉時事研究 I	各分野が抱える諸問題について理解を深め、その背景や解決策等を意欲的に考える。	グループに分かれ、興味関心をもった時事問題について調べ学習を行いまとめる。発表を通して様々な問題について知ると同時に、関連する語句や事項についての理解を深める。	6	日常的に各分野における時事問題に关心を持ち、疑問や課題に対して積極的に臨む姿勢が身についたか。 協力して調べ学習と発表を行うことが出来たか。
	5				6	
	6	医療用語研究 I	興味関心を持って調べ学習を行い、入試にも求められる看護医療福祉に関する用語への理解を深め定着を図る。	高校生が知っておくべき医療用語について分担して調べ学習を行う。発表の後冊子にまとめる。	8	医療用語に対する関心を高め、積極的に調べ学習に取り組むことができたか。 能動的に話を聞き、仕事への理解を深めるとともに、就労意欲の向上を図ることが出来たか。
	7	病院実習	志望する職種の体験と従事者の方との語らいを通して、仕事への一層の理解と、理想とする医療従事者像の確立を図る。	志望する職種について、実際に患者さんとのコミュニケーション場面・ケア場面に触れる。また、医療従事者との面談の中で、様々な職業観に触れ、自身の今後の課題を見つける。 事前学習⇒体験⇒まとめ⇒発表	8	積極的に体験に参加し、仕事や学びへの理解を深めることができたか。 協同作業を通して自身に与えられた役割を果たし、協調性を高めることができたか。
	7	専門学校での体験授業	上級学校での学びについての理解を深めながら、自己適性の理解	実技系授業を中心に、看護とりへの講義を受け、実際の現場で必要		学びについての理解を深めながら、自己適性の理解と一層の意欲の向上を図ることができた

2	8	学生による講和	と一層の意欲の向上を図る。	となる知識・技術を身に付ける。 事前学習⇒体験⇒まとめ⇒発表	か。
	9	専門学校による出前講座【精神看護】	上級学校での学びについての理解を深めながら、自己適性の理解と一層の意欲の向上を図る。	本校卒業生による大学、専門学校での学びについて話を聞く 事前学習⇒体験⇒まとめ	2 8 学びについての理解を深めながら、自己適性の理解と一層の意欲の向上を図ることができたか。
	10	看護医療福祉時事研究Ⅱ	主体的に看護医療福祉の基礎的技術の習得に取り組む。	専門学校教員より看護学校での学びについて講義を頂く。講義と体験を通して看護・医療の基礎的な知識と技術について習得する。今後の日常生活への応用についても理解を深める。 事前学習⇒体験⇒まとめ⇒発表	8 主体的に看護医療福祉の基礎的知識・技術の習得に取り組むことができたか。 学習内容を知識として定着させ、自身の今後につなげる積極的な姿勢が身についたか。
	11	専門学校による出前講座【老年看護】	各分野が抱える諸問題について理解を深め、その背景や解決策等を意欲的に考える。	グループに分かれ、興味関心をもった時事問題について調べ学習を行いまどめる。発表を通して様々な問題について知ると同時に、関連する語句や事項についての理解を深める。	8 日常的に各分野における時事問題に关心を持ち、疑問や課題に対して積極的に臨む姿勢が身についたか。 協力して調べ学習と発表を行うことが出来たか。
3	12		主体的に看護医療福祉の基礎的技術の習得に取り組む。	専門学校教員より看護学校での学びについて講義を頂く。講義と体験を通して看護・医療の基礎的な知識と技術について習得する。今後の日常生活への応用についても理解を深める。 事前学習⇒体験⇒まとめ⇒発表	8 主体的に看護医療福祉の基礎的知識・技術の習得に取り組むことができたか。 学習内容を知識として定着させ、自身の今後につなげる積極的な姿勢が身についたか。
					4 医療用語に対する関心を高め、積極的に調べ学習に取り組むことができたか。

教科名	国語	科目名	国語演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(看護医療福祉)	履修形態	必修	
科目の目標	国語能力を育成し、読解力を身に付け、語彙を増やし、思考力を伸ばし言語感覚を磨く。入試レベルの問題の演習により、評論文、小説への対応力を高める。					
学習内容の概要	問題集を教材とする。現代文の基礎となる、記述方式中心の演習や要旨をまとめる力をつける。基本的な読解力を求める問題に対応できるように、漢字、言葉、指示語、説明などの多様な方式の問題に対する演習もする。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	『新成 現代文』(尚文出版) 『改訂版漢字ことば常用漢字ワイドアルファ漢字検定7級～2級』(桐原書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	ステップ1 演習1～3	論、キーワードに着目した読み方ができる。	問題演習	6	読む能力、知識・理解で評価
	5	演習4～8	段落の構造に着目した読み方ができる。	問題演習	6	読む能力、知識・理解で評価
	6	演習9・10	表現に着目した読み方ができる。	短文を意識して書く。 問題演習	8	読む能力、知識・理解で評価
	7	漢字・語句の問題(1) ステップ2 演習11～15	振り返り定着を図る。	問題演習	8	意欲・知識・理解で評価
	8	漢字テスト 演習16・17	人物像に着目した読み方ができる。 準二級	問題演習 三段構成で書く。 練習問題	8	読む能力、知識・理解で評価
2	9	演習18～20 漢字・語句の問題(2) 漢字テスト	人物像と心情に着目した読み方ができる。 基礎力を伸ばし、設問を解く観点を知る。 振り返り定着を図る。	問題演習 問題演習	2	意欲・知識・理解で評価 読む能力、知識・理解で評価
	10	ステップ3 演習21～27	準二級 基礎力を充実させ、読み解きの手順を定着する。 構成、流れを読み取り全体把握力を身につける。	問題演習 練習問題 問題演習	8	読む能力、知識・理解で評価 意欲・知識・理解で評価 読む能力、知識・理解で評価

	11	演習28～30 漢字・語句の問題(3) 漢字テスト 私大対策演習	記述力、表現力を身につける。 要約力を身につける。 振り返り定着を図る。 二級 長文を解き、発展的な力を身につける。 100字の要約を確実にする。 知識・読解力の定着を図る。 二級	論文を書く。 問題演習 問題演習 練習問題 問題演習 小論文演習 問題演習 練習問題	8 8 4	関心・意欲・態度、書く能力で評価 意欲・知識・理解で評価 意欲・知識・理解で評価 読む能力、知識・理解で評価 関心・意欲・態度、書く能力で評価 意欲・知識・理解で評価 意欲・知識・理解で評価
3	12	総復習 漢字テスト				

教科名 対象学年	理科 第3学年	科目名 対象コース	生物基礎 普通コース	単位数 履修形態	2単位 必修	
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養い、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校理科との関連を考慮しながら、生物学の基本的な概念の形成を図るとともに、生物学的に探求する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。内容は代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をもち、自然現象に対して探求していく態度を身につけている。	B 思考・判断・表現 生物や生物現象を通して、自然現象の中に問題を見いだし、科学的に考察した考えを表現できている。	C 観察・実験の技能 生物や生物現象について、目的意識をもって観察・実験を行い、生物学的に探求する能力と技術を身につけている。	D 知識・理解 生物学の基本的な概念や原理・概念を理解し、科学的な知識や見方を身につけている。		
教科書、教材など	教科書:高等学校改訂新生物基礎(第一学習社)					
授業形態	講義形式の授業を主体とし、必要に応じて観察・実験および問題演習を行う。					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	単元別問題演習	必要に応じて単元別に復習と入試対策問題演習を行い、あいまいになっている知識や概念の定着を図る。夏休みまでに復習を行い、個々の事象や問題を総合的にとらえられるようにする。	単元別に復習および演習を行う。	4	授業中の取り組みを通して、上記評価基準をもとに評価する。 特に、演習問題への取り組む姿勢を重視し、定期考查や実力テストの結果を総合的に勘案して評価する。
	5				6	
	6				6	
	7				6	
2	8	総合演習問題	入試対策問題集を中心総合力を高める演習を行う。	入試過去問など	2	
	9				8	
	10				8	
	11				8	
	12				6	
3	1			入試過去問など	6	

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修	
科目の目標	○各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。○体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。					
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	運動技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。		自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行き方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行き方を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	特になし					
授業形態	実技(男女別合併授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	9	授業中の行動の観察
	5	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習する	9	授業中の行動の観察 評価テスト(総時数6時間) 授業中の行動の観察 実技テスト
		体づくり運動	体づくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	健康の保持増進や体力の向上を図る。		
		新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。		
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目特有の技能を高めることができるようとする。	12	診断テスト結果 授業中の行動の観察 実技テスト
		ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたバット操作、走塁の攻撃と守備などの攻防を展開する。		
		バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	状況に応じたボール操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。		
	7	8			12	授業中の行動の観察 実技テスト
		9				
		10				
	11	サッカー	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようとする。	作戦に応じた技能で仲間と連携してゲーム展開が出来るようとする。	12	授業中の行動の観察 実技テスト
		バスケットボール				
12		バドミントン				
3	1		安定した用具の操作とペアと連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	6	授業中の行動の観察 実技テスト	

教科名	国語		科目名	現代文B		単位数	3 単位			
対象学年	第3学年		対象コース	普通コース(看護福祉・文芸大学)		履修形態	必修			
科目の目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する能力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、更に言語感覚を磨き表現力を身につけ、自ら積極的に読書する姿勢を身につけることにより人生を豊かにする態度を育てる。									
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 文章の的確な読解を通して、客観的な理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。 現代社会で求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。 									
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解					
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合つたりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。					
教科書、教材など	教科書:精選現代文B(東京書籍) 補助教材:精選現代文B 学習課題ノート(東京書籍)、常用国語便覧(浜島書店)									
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)									
年間授業計画										
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価				
1	4	文学の未来 言語と記号	抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	9	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み姿勢、応答と發問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 				
	5	樽櫻 スペインスタイルの家	小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、題名について考える。	9	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み姿勢、応答と發問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 				
	6	環境問題と孤立した個人 鏡の中の現代社会	近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。	話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考えを深める。 さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。	12	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み姿勢、応答と發問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 				
	7	クレールという女 言葉を生きる	随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。	自己の体験と結びつけて読み解き、話し合う。	12	<ul style="list-style-type: none"> 作品を表現に即して深く読み取り、作者の感動の焦点をおさえ、味わうことができたか。 				

2	8	社会の壊れる時	叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。	3	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		他者の声 実在の原始社会像の真実	筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	比喩や例示の意図を理解して要旨を捉え、哲学的な思考の方法を理解する。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		舞姫	筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
10	平気	文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。	時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績	
	私大試験対策	叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係を考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績	
11	トランジット	私大受験に向けた学力を身につける。	・一般選抜対策問題演習	12	読む能力、知識・理解	
	サッカーにおける「資本主義の精神」	現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。	登場人物の言動・心理などを表現に即して読み取り、「出会い」の持つ意味について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績	
3	1	私大試験対策	社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	スポーツがいつ頃どのように成立したか、知っていることを発表したり、推測したりする。	6	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	抗争する人間	私大受験に向けた学力を身につける。	・一般選抜対策問題演習	読む能力、知識・理解		
		社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、自らに即して考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績	

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の定着と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校内容から数学IAの全範囲までの基礎基本を確認しながら数学検定準2級までを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 数学への関心・意欲・態度 既習内容の全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	B 数学的な見方や考え方 事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、既習内容の全範囲における数学的な見方や考え方を身につけている。	C 数学的な表現・処理 既習内容の全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	D 数量・図形などについての知識・理解 既習内容の全範囲における基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	創育 数学検定問題集準2級 教研出版 最新 数学I, 最新 数学A, 3ROUND数学I+A					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1. 方程式と不等式	基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身につける。 各項目において基本レベルから標準レベルの問題の解法を身につける。	例題で基本事項をおさえ、類題を解く。	6	A/B/C/Dの総合評価
	5	2. 関数とグラフ			6	
	6	3. 平面図形			8	
	7	4. 三角比			8	
		5. 場合の数と確率			2	
2	8		教科書を用いて、基本的な公式確認や、計算練習をする。 類題を解くことで、実践問題に慣れる。 教科書を用いて、考え方や計算方法を確認する。	8		
	9			8		
	10			8		
	11			8		
3	12	実践問題		8		
	1				4	

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(文芸大学)	履修形態	必修	
科目の目標	古典としての古文と漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。					
学習内容の概要	古文および漢文を読解し鑑賞するために、読み、語句、文法事項、表現上の特色等を理解して古典に親しみ、文章に現れた思想、感情、古典常識を通しての見方、感じ方、考え方を豊かにし、日本文化との関係について考える。以上の観点から指導し、共通テストに対応できる学力を身につける。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重する姿勢を持ち、進んで古典に親しもうとしている。	古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて、筋道を立てて自分の考えをまとめ、発表したり話し合ったりすることができる。	学習した古典の作品について、積極的に情報を収集・活用して進んで表現することで、自分の考えをまとめるとともに深めることができる。	文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。また、古典に表れた思想や感情を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにすることができる。	古典の理解に役立てるための音声・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	教科書:『精選古典B改訂版』(三省堂) 標準教科書:『体系古典文法』(数研出版) 『体系古典文法 準拠ノート』(数研出版)『新明説漢文』(尚文出版)『重要古文単語315』(桐原書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	(古)隨筆 『枕草子』	・隨筆を読むことにより、作者の自然観、人生観を理解する。	作者の美意識やものの見方を、正確な口語訳をし読み取る。	9	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。
	5	(漢)史伝 『三国志』	・時代を生きた典型的な人間像を探り味わい史伝への興味を深める。	登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。	9	基本的な句法を理解し、登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。
	6	(古)物語 『源氏物語』	・登場人物の人間関係を正確に掴み、微妙な心理の変化を理解する。	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取る。	12	基本的な敬語法を理解し、登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。
	7	(漢)漢詩 ・桃夭・生年不滿百 ・秋風辭・飲酒 ・子夜吳歌・兵車行 (古)日記 『蜻蛉日記』 『和泉式部日記』 『紫式部日記』 (漢)小説 ・人面桃花 ・杜子春伝	・漢詩の特徴を理解し、詩に託された思いや描かれた情景を味わう。 ・敬語について正しく理解し読解の手がかりとする。	近体詩との相違点を調べ、辞書などを用いて漢字の意味から語意を考える。 ・場面を捉えながら人物像を把握し、それぞれが何を語ろうとしているのかまとめる。 話の展開を整理し、登場人物の言動や心情を読み取る。	12	古体詩の詩形の多様性について理解し、それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。 作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。
			・当時の死生観や人生観、恋愛観などから話の面白さを味わう。			基本的な語法を理解し、登場人物の人間像と心情の動きを読み取っている。

2	8 9 10	(古)物語 『大鏡』 (漢)史伝 『史記』 (古)評論 『古今和歌集仮名序』 『無明草子』 『風姿花伝』 『去来抄』	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の時代背景、社会背景を理解したうえで正確に読解する。 ・時代を生きた典型的人間像を探り味わい史伝への興味を深める。 ・さまざまな評論を読み、古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を知ることで、わが国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。 	<p>歴史背景を調べ、登場人物の境遇や心情を読み取る。 古代中国の歴史が持つ面白さや登場人物の魅力を話し合う。 古典に表れた人間の生き方や考え方について、文章中の表現を根拠にして話し合う。</p>	3 12	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 和歌の本質について考えようとしている。 筆者の考え方を現代と比較しながら理解している。
11	私大試験対策	私大受験に向けた学力を身につける。		<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜対策問題演習 	12	読む能力、知識・理解
12	(漢)思想と寓話 『孟子』『荀子』『老子』 『莊子』『列子』『墨子』 『韓非子』	儒家・道家をはじめとする思想を理解し、人間の生き方やあり方についての考えを深める。		<ul style="list-style-type: none"> ・一語一句の意味、語順、文脈に注意しながら内容を正確に読み解する。 	12	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。
3	1	私大試験対策	私大受験に向けた学力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜対策問題演習 	6	読む能力、知識・理解

教科名	総合	科目名	自己表現	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(文芸大進学)	履修形態	選択必修	
科目の目標	3年間で学んだこと、習得したことを整理し、それを簡潔かつ明快に表現できる。					
学習内容の概要	3年間で学んだこと、習得したことを整理し、自己PR文を作成する。自己推薦文や志願理由書を作成し、自分自身のアピールポイントを自分自身が理解する。また、それらを元に面接や面談練習を行い、入試に向けた取り組みをする。また、進学先決定後は進学先から配布された課題演習や社会に出るためのマナー講座等を行い、卒業への準備を行う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A.関心・意欲・態度	B.志向・判断	C.技術・表現	D.知識・理解		
	志望校の特色や研究・学間に興味をもち、主体的に進路について考えることができる。	入学試験の準備を計画的かつ効率的に行い、自信をもって試験に臨める。	正しい敬語を用いて話すことができる。また、自己理解を深め、より向上しようという姿勢がある。	志望校でどのような研究ができるのかを明確に理解し、それによって将来どのように社会に貢献できるか考えることができる。		
教科書、教材など	自分を活かす志望理由書・面接-学校推薦型選抜・総合型選抜入試対策 東進ブックス-大学入試小論文シリーズ、ワークシート					
授業形態	講義・AL型・実技					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	資格取得 ・実用英語能力検定 ・日本漢字能力検定	実用英語技能能力検定または日本漢字能力検定の準2級以上を取得。	資格取得のための反復演習をする。	6 6	
	6	志望校・学科調べ ・学校の特色 ・取得できる資格 ・設備や環境 自己発見	志望校の特色や研究内容について調べ、志望校の魅力を具体的に述べる。 志望校と自身の学びとの適合性を客観的に把握する。	パンフレットや学校案内を取り寄せ、学校の特色を調べる。 テキストを用いて、自己表現の練習をする。	8	
	7		志望校のオープンキャンパスに参加し、具体的な入試方法やエントリーについて把握する。	志望理由書の作成。 面接練習。	8	
	8	オープンキャンパス			2	
2	9 10 11 12	志願理由書作成と 面接・面談対策	志望校合格 志望校からの課題・レポート	課題レポートの作成	8 8 8 8	
3	1				4	

教科名	芸術	科目名	芸術演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(文芸大進学)	履修形態	選択必修	
科目の目標	3年間で学んだこと、習得したことを整理し、それを簡潔かつ明快に表現できる。					
学習内容の概要	3年間で学んだこと、習得したことを整理し、自己PR文を作成する。受験に向け、志望校の実技演習を行う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A.関心・意欲・態度 志望校の特色や研究・学問に興味をもち、主体的に進路について考えることができる。	B.志向・判断 入学試験の準備を計画的かつ効率的に行い、自信をもつて試験に臨める。	C.技術・表現 デッサンの技術をさらに高め、また、自己理解を深め、より向上しようという姿勢がある。	D.知識・理解 志望校でどのような研究ができるのかを明確に理解し、それによって将来どのように社会に貢献できるか考えることができる。		
教科書、教材など	自分を活かす志望理由書・面接-学校推薦型選抜・総合型選抜入試対策ワークシート					
授業形態	講義・AL型・実技					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	デッサン		入試のための反復演習をする。	6 6	
	6	志望校・学科調べ ・学校の特色 ・取得できる資格 ・設備や環境 自己発見	志望校の特色や研究内容について調べ、志望校の魅力を具体的に述べる。 志望校と自身の学びとの適合性を客観的に把握する。	パンフレットや学校案内を取り寄せ、学校の特色を調べる。 テキストを用いて、自己表現の練習をする。	8	
	7				8	
	8	オープンキャンパス	志望校のオープンキャンパスに参加し、具体的な入試方法やエントリーについて把握する。	志望理由書の作成。 面接練習。	2	
2	9 10 11 12	志願理由書作成と 面接・面談対策	志望校合格 志望校からの課題・レポート	課題レポートの作成	8 8 8 4	
3	1					

教科名	地理歴史	科目名	日本史B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(大学進学)	履修形態	必修	
科目の目標	<p>我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を統合した幅広い見方で大きく把握させる。同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関する総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを重視している。その際、諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養うことがこの科目のねらいである。</p>					
学習内容の概要	<p>1 「近代日本の形成と世界」では、近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。</p> <p>2 「両世界大戦期の日本と世界」では、近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。</p> <p>3 「現代の日本と世界」では、現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連づけて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界中の日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界中の日本の立場について認識させる。</p>					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解		
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史展開に関心と問題意識を高めているか。 ・民主的、平和的国家。社会の一員としての自覚を深め、現代日本社会に生きる意欲を高めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の知識を踏まえて、現代日本の課題を歴史的視点から考察しようとしているか。 ・追求し、考察した過程や結果を適切な方法で表現しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の基本的な事柄に関する諸資料を様々な方法で収集しているか。 ・日本史の理解に必要な情報を主体的に選択して活用し、歴史的事柄を追求する方法を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史を理解するために必要な知識を身に付けているか。 ・日本史と世界史を関連づけながら理解しているか。 ・地域の歴史と日本史の関連を理解しているか。 		
教科書、教材など	教科書:詳説日本史B(山川出版) 補助教材:日本史のライブラリー(とうほう)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	單元	單元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目し、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・開国後の江戸幕府の崩壊がどのように進み、天皇を中心とする近代国家がどのように形成されたかを理解させる。 ・日清・日露の両戦争を通して大陸政策がどのように進められたかをまとめさせる。 ・日清戦争後の思想家の間で国家主義的傾向を示したことを理解させる。 	6	日米和親条約・修好通商条約締結、開港により政局への影響、公武合体、尊王攘夷、討幕、藩置県・徵兵制・四民平等・秩禄处分・地租改正・殖産興業政策、明治政府の中央集権体制、近代化政策や欧米文化の導入、国会開設要求の運動、憲法の特色、議会と内閣の在り方、条約改正、日清・日露戦争の背景、殖産興業政策、劣悪な労働条件に対する労働争議や社会主义運動、国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢等考察できたか。
	5	2. 明治維新と富国強兵			6	
	6	3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達			8	

		第10章 二つの世界大戦と アジア				
7	8	1. 第一次世界大戦 と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の 変容と大衆文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移や政党政治の発展、日本の中国進出の状況を踏まえて考え、第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要な性を理解する。	・大戦への参加の意義や大戦処理について世界の動向と日本の立場を理解させる。 ・政党の無力化が政治に対する批判を生んだことを考えさせる。 ・軍部の台頭が何によるものかを考えさせる。 ・大正デモクラシー時代と戦争の拡大期にみられる学術や芸術の展開をまとめる。	12 3	第一次護憲運動による大正政変、対華二十一箇条要求・シベリア出兵、資本主義の発展による産業構造の変化や労働者の増加、デモクラシー思想の浸透による政党の役割、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や日本の大陸進出に対する民族運動の高揚、満州事変から国際連盟の脱退、管理通貨制度への移行、日中戦争・太平洋戦争、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目できたか。
9		第11章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と 講和	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解する。	・サンフランシスコ兵 岩条約や日米安全保障条約について考えさせる。	12	GHQの諸政策、対日占領政策、日本の国民の戦争に対する反省、主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の3原則を中心とする日本国憲法が制定、日本の主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を考察できたか。
10		第12章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から 高度成長へ	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。	・高度経済成長以降、国民生活がどのように変化したかを考えさせる。	12	経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生、日ソ共同宣言、国際連合加盟特需景気、産業構造の高度化、耐久消費財の普及、流通網・交通網の整備、農村の過疎化や公害問題などの社会問題にも注目したか。
11 12 1		第13章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と 日本社会の動搖	高度成長が終焉し、保守政権が動搖するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考える。	・戦後の日本の復興と発展を国際関係の推移から捉え、現在社会における課題を考える。	12 12 6	ドル=ショックや第四次中東戦争、石油危機柄御技術革新で乗り越えた日本がODAなど社会貢献や貿易摩擦・円高への対応、冷戦終結後の東欧革命、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取りあげ考察できたか。
		大学入試問題演習		今までの学習内容を整理しつつ入試問題演習を行うことで実践的な力を養う。		資料から必要な情報を適切に読み取れたか。 情報や既習知識を組み合わせて因果関係を考察できたか。 歴史の展開における意味や意義を解釈できたか。 どの解釈や歴史叙述が妥当性を持つのかを判断できたか根拠を基に筋道立てて考えを考察できたか。

教科名	公民科	科目名	公民	単位数	4 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース 文・芸大学進学	履修形態	選択必修	
科目の目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	(1) 現代社会における諸課題の中で、社会の在り方生き方を考察する基盤として、幸福・正義・公正などについて理解し、現代社会に対する関心を高めて、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 (2) 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解するとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解		
	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身につけているか。平和で民主的なよりよい社会に実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見出し、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身につけているか。	現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。また、学び方を身につけているか。		
教科書、教材など	4ステージ演習ノート 現代社会(数研) ※予定 最新現代社会資料集(第一学習社)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第5章 国際社会と 人類の課題	貿易と国際分業、外國為替の仕組み、国際收支等を理解する。また、戦後の国際経済の枠組みを理解する。	国際経済の しくみと動向	12	a. 現代社会の経済・国際関係にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。 b. 現代社会の経済・国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。
	5		国際連合、東西対立等国際政治が抱える諸問題について様々な観点からえられるようにする。	国際政治の しくみと動向	12	d. 現代社会の経済・国際関係にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	6		国際経済、国際政治の基本を理解し、日本が国際社会において果たすべき役割を考察する。	国際社会の 現状と課題	16	b. 人間にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。 c. 得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身につけているか。
	7	《第3部》 ともに生きる社会をめざして	現代社会の課題を、幸福、正義、公正といった倫理的な視点にたって探求する。	個人と社会 社会と社会 現役世代と将来世代	16 4	b. 人間にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。 d. 人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解しているか。
	8					

2	9	単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テストの出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	16	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	10	単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テスト演習の出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	16	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	11	総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	16	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	12	総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	16	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
3	1	本番形式の予想問題等を解くことにより実戦力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。

教科名 対象学年	外国語 第3学年	科目名 対象コース	コミュニケーション英語III 普通コース(大学進学クラス)	単位数 履修形態	5単位 必修	
科目の目標		<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p> <p>具体的な言語活動は以下の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>				
学習内容の概要		<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語を読んで情報や考えを理解したり概要や要点をとらえたりする。聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだり学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合い意見の交換をする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア. リズムやイントネーションなどの音声的な特徴、話す速度、声の大きさに注意し聞いたら話すこと。</p> <p>イ. 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ. 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)		A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化についての知識・理解	
		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	
教科書、教材など						
LANDMARK Fit English Communication III						
授業形態						
講義・演習(学級単位による授業)						
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson1 Emperor Penguins	・コウティペンギンの身体的特徴や能力、生息場所について理解する。 ・コウティペンギンの集団行動とその理由を理解する。 ・コウティペンギンの子育ての仕方を理解する。	<動物・環境> 南極の厳しい環境を生き抜くコウティペンギンの生態	15	A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。

	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストペンギンについて理解する。 ・コウティペンギンに関する会話を聞く。 ・コウティペンギンの特徴について書く。 ・コウティペンギンの特徴について会話する。 		
1	5	Lesson2 Caffeine	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェインの日常的な使用と効果、文化の関わりを理解する。 ・カフェインによる健康被害の可能性について理解する。 ・カフェインの効果的な摂取量について理解する。 ・カフェインの利点について理解する。 ・カフェインの摂取に関する会話を聞く。 ・カフェインの摂取について書く。 ・カフェインの摂取について会話する。 	<食物・健康> さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	6	Lesson3 Blood Is Blood	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の黒人差別の実態を理解する。 ・ドルーが発見した輸血方法について理解する。 ・黒人差別と闘うドルーの主張を理解する。 ・活動を通じてドルーが証明したことを理解する。 ・献血に関する会話を聞く。 ・献血に対する意見を書く。 ・献血に関する意見交換をする。 	<人権・生き方> 血液の研究と人種差別撤廃に生涯を捧げた黒人医師	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	6	Lesson4 Biomimetics	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオミメティクスとは何か理解する。 ・新幹線に応用されたバイオミメティクスを理解する。 ・注射針に応用されたバイオミメティクスを理解する。 	<自然・化学> 自然を模倣することで生み出される画期的な製品	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・無生物によるバイオミメティクスの事例を理解する。 ・バイオミメティクスの事例に関する会話を聞く。 ・バイオミメティクスの事例について書く。 ・バイオミメティクスの事例について会話する。 		
1	6	<p>Lesson5 Communication without Words</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの7割をボディー・ランゲージが占めることを理解する。 ・ボディー・ランゲージは国や文化によって違うことを理解する。 ・海外の人と理解し合うためにはボディー・ランゲージを学ぶことが大切であると理解する。 ・誤解を防ぐためにも自身のボディー・ランゲージを知ることが大切であると理解する。 ・コミュニケーションにおける目の役割について聞く。 ・会話中の視線のやり方について書く。 ・会話中の視線のやり方について意見交換する。 	<p><言語・比較文化> コミュニケーションの70パーセントを占める身体言語</p>	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに关心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	7	<p>Lesson6 Christmas Truce</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦下の英・独の戦闘の様子を理解する。 ・クリスマスイブを祝う両軍の様子を理解する。 ・クリスマス期間の停戦と両軍の交流を理解する。 ・クリスマス休戦が伝えるメッセージを理解する。 ・奇跡のような経験に関する会話を聞く。 ・奇跡のような経験について書く。 ・奇跡のような経験について会話する。 	<p><戦争・平和> 第一次世界大戦の戦場で起きたクリスマスの奇跡</p>	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに关心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	7 8	<p>Lesson7 Political Correctness</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見のない用語の使用が推奨されていることを理解する。 ・だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて理解する。 ・行き過ぎた用語制限に潜む問題を理解する。 	<p><言語・現代社会> 差別や偏見のない中立的な用語の利用と問題点</p>	<p>5</p> <p>A コミュニケーションに关心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

	8	<ul style="list-style-type: none"> 正しい用語の使い方は次の世代にかかっていることを理解する。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を聞く。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を書く。 ・ポリティカル・コレクトネスについて意見交換する。 		
2	9	<p>Lesson8 Global Water Crisis</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な水不足が起きていることを理解する。 ・人口増加や生活水準の向上、地球温暖化が水不足の要因となっていることを理解する。 ・日本も大きく関わる輸出と水不足の関係、仮想水について理解する。 ・日本が取るべき水不足への対策について理解する。 ・節水に関する会話を聞く。 ・水を守るために何ができるか意見を書く。 ・水を守るために何ができるか意見交換をする。 	<環境・国際社会> 世界の深刻な水不足と日本が取るべき行動	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	10	<p>Lesson9 Animal Math</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物には生来、数学的な能力が備わっていることを理解する。 ・イヌはボールまでの最短距離を計算できることが実験からわかったことを理解する。 ・靈長類は数の違いを理解していることが実験からわかったことを理解する。 ・動物は自然界で生き残るために数学を用いてきたことを理解する。 ・動物の能力に関する会話を聞く。 ・動物の能力に関して書く。 ・動物の能力に関して会話する。 	<動物・科学> 自然界で生き残る秘訣は「数学」にある？	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
		<p>Lesson10 The Poorest President in the World</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウルグアイの元大統領ムヒカの質素な生活と彼が述べた貧しさの定義について理解する。 ・ムヒカが演説で指摘した、環境問題と消費社会の関わりについて理解する。 ・ムヒカが考える発展と幸福の関わりを理解する。 	<生き方・現代社会> 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカ	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・消費社会の実態とそれに関するムヒカの考え方を理解する。 ・ムヒカの考え方に関する会話を聞く。 ・ムヒカの考え方に対して意見を書く。 ・ムヒカの考え方に関して意見交換をする。 ・消費社会の実態とそれに関するムヒカの考え方を理解する。 ・ムヒカの考え方に関する会話を聞く。 ・ムヒカの考え方に対して意見を書く。 ・ムヒカの考え方に関して意見交換をする。 		
2	10	Reading My Messages to You	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の学生時代のガールフレンドとのやりとり、そこから学んだことを理解する。 ・教師が学生時代にエレベーターで経験したこと、そこから学んだことを理解する。 ・教師が学生時代に言われた言葉とその意味を理解する。 ・教師にメッセージを書く。 	<p><スピーチ> 英語教師が最後の授業で卒業生に贈る言葉</p> <p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	11	大学入試共通テスト演習		
	12	大学入試共通テスト演習		
3	1	大学入試共通テスト演習		
			10	

教科名	外国語	科目名	英語演習	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース(大学進学)	履修形態	必修	
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 1. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。					
学習内容の概要	大学入試共通テストや私立大学の入試に向けて、以下の内容を含む演習を行う。 (1)長文を読んで大意を把握し、英問英答問題に取り組む。 (2)長文の内容についてのリスニングを行い、正誤問題や選択問題に取り組む。 (3)長文中に出てくる文法事項や語彙の練習問題を通して、基礎力の養成を図る。 (4)スピーキングやライティングの足がかりになるさまざまな種類の問題に取り組む。 (5)電話における会話や3人の会話の聞き取り、イラスト・図表・写真を用いた問題など、さまざまなリスニング問題に取り組む。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	B:外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	C:外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	D:言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。		
教科書、教材など	英語総合問題集 UNITE STAGE2(教研出版) 英語総合問題集 UNITE STAGE3(教研出版)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	單元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	STAGE2 ・Lesson1 文型 ・Lesson2 時制 ・Lesson3 完了形 ・Lesson4 助動詞	・文の骨格を形作る重要な要素の主語、動詞、基本文型を身につける。 ・現在、過去、未来の表現を身につける。 ・完了形(現在・過去・未来)の表現を身につける。 ・基本的な助動詞の表現を身につける。	・文型:文の構成要素 5文型 ・時制:基本時制、進行形 ・完了形:現在・過去・未来の完了形 ・助動詞:基本的な助動詞、<助動詞+have+過去分詞>の形	9	・小テスト
	5	・Lesson5 受動態 ・Lesson6 不定詞(1) ・Lesson7 不定詞(2) ・Lesson8 動名詞	・基本的な受動態、注意すべき受動態の表現を身につける。 ・不定詞の基本的用法の表現を身につける。 ・不定詞の意味上の主語、原型・完了不定詞の表現を身につける。 ・動名詞の基本的用法の表現を身につける。	・受動態:基本的な受動態、注意すべき受動態 ・不定詞(1):<to+動詞の原形>の基本的用法 ・不定詞(2):不定詞の意味上の主語、原型不定詞、完了不定詞 ・動名詞:基本的用法、動名詞の意味上の主語、完了動名詞	9	・小テスト、定期テスト

	6	<ul style="list-style-type: none"> Lesson9 分詞・分詞構文 Lesson10 準動詞のまとめ Lesson11 比較 Lesson12 関係詞(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞的用法, 分詞構文の表現を身につける。 準動詞である, 不定詞, 動名詞, 分詞の表現を身につける。 比較の表現(原級, 比較級, 最上級)を身につける。 関係代名詞の表現を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 分詞・分詞構文:形容詞的用法, 分詞構文 準動詞のまとめ:不定詞, 動名詞, 分詞 比較:原級, 比較級, 最上級 関係詞(1):関係代名詞 	12	・小テスト
	7	<ul style="list-style-type: none"> Lesson13 関係詞(2) Lesson14 仮定法(1) Lesson15 仮定法(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞, 関係副詞, 関係詞の継続用法の表現を身につける。 仮定法の過去, 過去完了の表現を身につける。 仮定法の願望表現, その他の重要表現を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞(2):関係代名詞, 関係副詞, 関係詞の継続用法 仮定法(1):仮定法過去, 仮定法過去完了 仮定法(2):願望を表す表現, その他の重要表現 	12	・小テスト, 定期テスト
	8	<p>STAGE3</p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson1 時制 Lesson2 助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> 現在, 過去, 未来, 進行形, 完了形の表現を定着する。 助動詞の基本的用法の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在, 過去, 未来, 進行形, 完了形 基本的な助動詞, 助動詞+have+過去分詞, 助動詞を使った重要表現 	3	・小テスト
2	9	<ul style="list-style-type: none"> Lesson3 受動態 Lesson4 準動詞(1) Lesson5 準動詞(2) Lesson6 準動詞(3) Lesson7 比較 	<ul style="list-style-type: none"> 完了形, 進行形の受動態の表現を定着する。 不定詞, 分詞の形容詞的用法の表現を定着する。 完了不定詞, 分詞構文の表現を定着する。 不定詞の否定形, 独立分詞構文の表現を定着する。 比較の表現(原級, 比較級, 最上級)を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 完了形, 進行形の受動態, 注意すべき受動態 原形不定詞, 不定詞の意味上の主語, 目的語としての動名詞と不定詞, 分詞の形容詞的用法 完了不定詞, 動名詞の意味上の主語, 動名詞を使った重要表現, 分詞構文 不定詞の否定形, 動名詞の態, 付帯状況を表す表現, 独立分詞構文 原級, 比較級, 最上級を使った表現, 最上級の内容を表す原級, 比較級, 比較に関する重要表現 	12	・小テスト

	10	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson8 関係詞(1) •Lesson9 関係詞(2) •Lesson10 仮定法 •Lesson11 否定 •Lesson12 注意すべき構文 	<ul style="list-style-type: none"> •関係代名詞の表現を定着する。 •関係副詞の表現を定着する。 •仮定法の表現を定着する。 •否定の表現を定着する。 •注意すべき構文の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> •関係代名詞, 関係代名詞が前置詞の目的語になる場合, 関係代名詞の非制限用法, 複合関係詞 •what, 関係副詞 •仮定法過去, 仮定法過去完了, 願望を表す用法, 仮定法の重要表現, 未来のことを仮定する表現 •準否定, 部分否定, 二重否定, 隠れた否定, 否定を含む重要表現 •強調構文, 無生物主語構文, 同格, 名詞構文 	12	•小テスト, 定期テスト
	11	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson13 名詞・代名詞 •Lesson14 形容詞・副詞 •Lesson15 前置詞・接続詞 •大学入試問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> •名詞, 代名詞の表現を定着する。 •形容詞, 副詞の表現を定着する。 •前置詞の基本的用法の表現, 接続詞の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> •可算名詞と不可算名詞, 人称代名詞, 指示代名詞, 不定代名詞 •形容詞の用法, 副詞の用法, 数量を表す形容詞, 数詞 •基本的な前置詞の用法, 群前置詞, 等位接続詞, 従位接続詞 	12	•小テスト
	12	•大学入試問題演習			12	•小テスト
3	1	•大学入試問題演習			6	•小テスト

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	普通コース	履修形態	必修	
科目の目標	○各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。○体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。					
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解		
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	特になし					
授業形態	実技(男女別合併授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	9	授業中の行動の観察
	5	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようする。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習する。		授業中の行動の観察
	6	体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	健康の保持増進や体力の向上を図る。		評価テスト(総時数6時間)
	7	新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。		授業中の行動の観察
	8	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目特有の技能を高めることができるようする。	9	実技テスト
	9	ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようする。	状況に応じたバット操作、走塁の攻撃と守備などの攻防を展開する。	12	診断テスト結果
	10	バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようする。	状況に応じたボール操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出す攻防を展開する。	12	授業中の行動の観察
	11	サッカー	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようする。	作戦に応じた技能で仲間と連携してゲーム展開が出来るようする。	12	実技テスト
	12	バスケットボール			12	授業中の行動の観察
	1	バドミントン			12	実技テスト
3	1				6	授業中の行動の観察
						実技テスト